

はじめて
操作する方は
まず、こちらを
ご覧ください。

はじめての
電子納品検査

電子納品検査システム

入門ガイド

目 次

はじめに	3
電子納品検査システムの概要	3
電子納品検査システムにて閲覧可能な要領（案）	4
1 電子納品検査システムを起動する	5
2 検査する工事を開く	9
(A) 工事データを開く	
－ 電子納品検査システムの添付方法が『インストールせずに使用する』の場合 －	9
(B) 工事データを開く	
－ 電子納品検査システムの添付方法が『インストールして使用する』の場合 －	13
① 検査する工事を切り替える	18
(C) すべてのメディアを結合して工事を開く	20
3 画面の表示設定と確認を行う	26
(A) 画面の表示設定を行う	26
(B) 図面ファイルの背景色を設定する	27
(C) バインダ情報ファイルを読み込む	
－ 電子納品支援システムにて作成時と同じバインダ構成にする －	27
4 エラー内容を確認する	29
(A) XML情報のエラー内容を確認する	29
(B) レイヤ名のエラー内容を確認する	31
(C) 写真のエラー内容を確認する	33
5 エラー内容を入力する	35
(A) エラー内容を印刷する	35
(B) エラー内容をCSV出力する	36

6	書類を検査する	38
(A)	関連資料（関連打合せ簿・図面・写真）と比較をしながら検査する	38
①	検査する書類を検索する	50
②	別のメディアにある書類を検査する	
	－ 複数枚のメディアを結合していない場合 －	51
(B)	書類のXML情報を確認する	52
①	アシスタントを使用して書類ごとのXML情報を確認する	52
②	管理フォルダごとのXML情報を一覧で確認する	53
(C)	成果品のフォルダ・ファイル構成を確認する	54
(D)	写真閲覧で写真（PHOTO）フォルダの内容を確認する	55
7	検査した書類の履歴（検査結果）を確認する	56
8	検査した書類の履歴（検査結果）を出力する	57
(A)	検査結果を印刷する	57
(B)	検査結果をCSV出力する	58
9	総括表（提出書類とXML情報の一覧）を印刷する	60
10	電子納品検査システムを終了する	61

はじめに

電子納品検査システムの概要

「電子納品検査システム」は、各種適用基準に準拠するフォーマットで保存された電子納品データを検査・閲覧するためのアプリケーションです。

「電子納品支援システム」にて出力された電子納品データはもちろんの事、各種適用基準（次ページ参照）に基づいて、他社アプリケーションで保存された電子納品データも閲覧できます。

※PHOTO.XML 内の写真データの閲覧には「写管屋XMLビューア」が必要です。

検査時には「電子納品検査システム」と「写管屋XMLビューア」の両方をご用意する事をお勧めします。

「電子納品検査システム」はデータのチェック機能、複数枚のメディアのデータを結合して取り込む機能、「電子納品支援システム」のバインダ情報の取り込み機能、書類を並べて表示する機能、検査状態（検査済・指摘あり）チェック機能、検査状態の履歴印刷・履歴データ出力機能、検査コメント機能等、検査作業の大幅な効率化が図れるアプリケーションとなっております。



ワンポイントアドバイス

検査時における電子納品データは、検査用 PC のハードディスクに結合して取り込む事をお勧めします。（複数枚の CD から検査を行うと、効率化の妨げになります）あらかじめ結合済みの電子納品データを使用して検査をする事で、検査の迅速化・効率化につながります。ただし、検査前に結合データでの検査の可否を事前協議していただく事が前提となります。

電子納品検査システムにて閲覧可能な要領（案）

電子納品検査システムにて閲覧可能な要領（案）を一覧で確認できます。

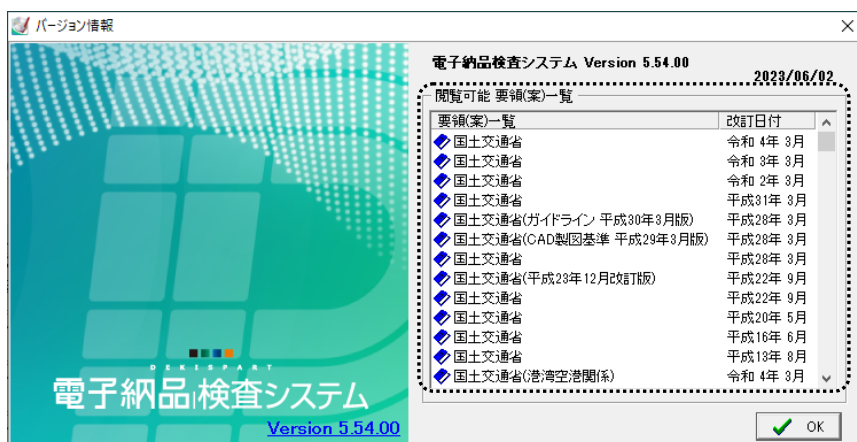
電子納品検査システムを起動し、工事を開いた後に確認が可能となります。

電子納品検査システムの起動方法は【5ページ「電子納品検査システムを起動する」参照】

工事の起動方法は【9ページ「検査する工事を開く」参照】

電子納品検査システム画面のメニューバーから「ヘルプ」→「バージョン情報」をクリックすると、バージョン情報画面が表示されます。

※ここに表記されているバージョン・日付は、お客様の画面と異なる場合があります。



画面右側で閲覧可能な要領（案）の確認ができます。

電子納品支援システムの出力時に、電子納品検査システムの添付の方法を選択できます。

添付方法により一覧に表示される要領（案）が異なります。

確認が終了したら、「OK」ボタンをクリックして終了してください。

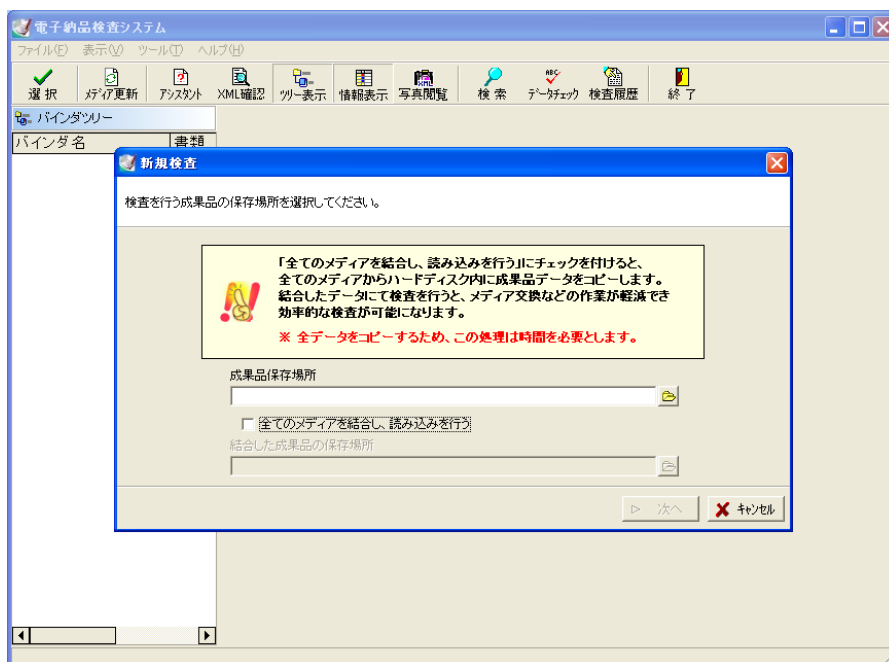
1 電子納品検査システムを起動する

電子納品検査システムを起動します。

Windows のスタートメニューから「すべてのプログラム (OSにより異なります)」→「電子納品検査システム」をクリック、またはデスクトップ上にある「電子納品検査システム」ショートカットをダブルクリックします。



電子納品検査システムが起動します。



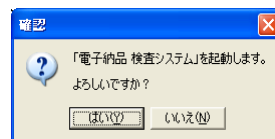
電子納品支援システムの出力時に、電子納品検査システムの添付の方法を選択できます。
添付方法により操作が異なるので、以下をご確認ください。

成果品に電子納品検査システムを添付した場合

① 電子納品検査システムの添付方法を『インストールせずに使用する』に設定して出力した場合

CDドライブに電子納品検査システムを添付した成果品CDを挿入すると、電子納品検査システムの起動を確認するメッセージが表示されます。

電子納品検査システムを起動する場合は、「はい」ボタンをクリックします。
電子納品検査システムを起動しない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

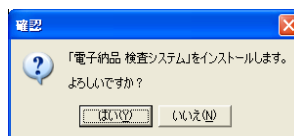


② 電子納品検査システムの添付方法を『インストールして使用する』に設定して出力した場合

●電子納品検査システムがインストールされていない／古いバージョンがインストールされている場合

CDドライブに電子納品検査システムを添付した成果品CDを挿入すると、電子納品検査システムのインストールを確認するメッセージが表示されます。

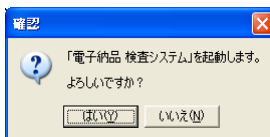
インストールを実行する場合は、「はい」ボタンをクリックします。
インストールを実行しない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。



●電子納品検査システムが既にインストールされている場合

CDドライブに電子納品検査システムを添付した成果品CDを挿入すると、電子納品検査システムの起動を確認するメッセージが表示されます。

電子納品検査システムを起動する場合は、「はい」ボタンをクリックします。
電子納品検査システムを起動しない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。



③ ①②の確認メッセージが自動で表示されない場合

エクスプローラ等からCDフォルダ内のEXEを直接ダブルクリックします。

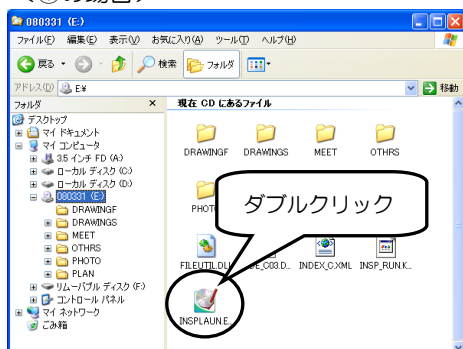
① 電子納品検査システムの添付方法が『インストールせずに使用する』の場合

→ 「INSPLAUN. EXE」をダブルクリック

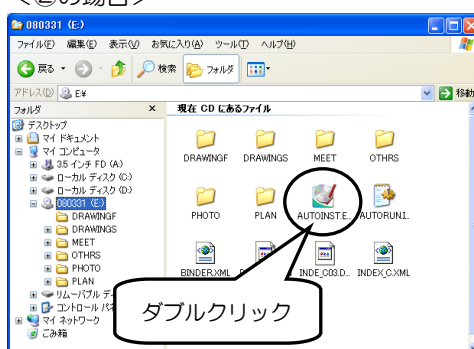
② 電子納品検査システムの添付方法が『インストールして使用する』の場合

→ 「AUTOINST. EXE」をダブルクリック

<①の場合>



<②の場合>



成果品とは別に電子納品検査システムのインストールCDを作成した場合

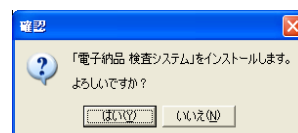
作成したインストールCDから電子納品検査システムのインストールを行い、起動します。
その後、成果品のCDを挿入して検査を行ってください。

●電子納品検査システムがインストールされていない／古いバージョンがインストールされている場合

CDドライブに電子納品検査システムのインストールCDを挿入すると、電子納品検査システムのインストールを確認するメッセージが表示されます。

インストールを実行する場合は、「はい」ボタンをクリックします。

インストールを実行しない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

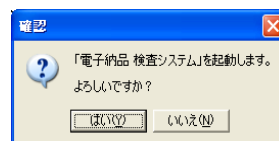


●電子納品検査システムが既にインストールされている場合

CDドライブに電子納品検査システムのインストールCDを挿入すると、電子納品検査システムの起動を確認するメッセージが表示されます。

電子納品検査システムを起動する場合は、「はい」ボタンをクリックします。

電子納品検査システムを起動しない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。



データをMOやフォルダ（ハードディスク）に保存した場合

エクスプローラ等からMOまたはフォルダ（ハードディスク）内のEXEを直接ダブルクリックします。

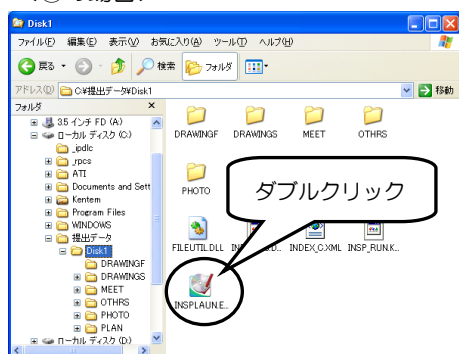
① 電子納品検査システムの添付方法が『インストールせずに使用する』の場合

→ 「INSPLAUN. EXE」をダブルクリック

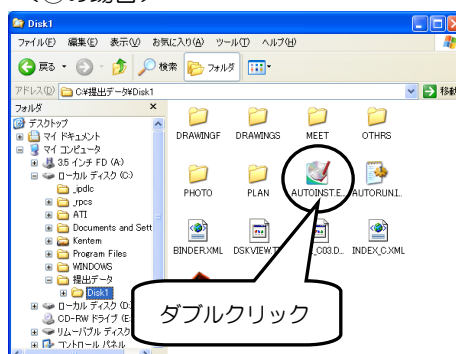
② 電子納品検査システムの添付方法が『インストールして使用する』の場合

→ 「AUTOINST. EXE」をダブルクリック

<①の場合>



<②の場合>

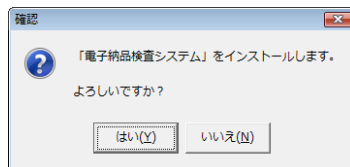


電子納品支援システムで出力した CD から電子納品検査システムをインストールする場合

電子納品支援システムで出力したCDから電子納品検査システムをインストールする際に、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

CDドライブに電子納品支援システムで出力したCDを挿入すると、電子納品検査システムのインストールを確認するメッセージが表示されます。

インストールを実行する場合は、「はい」ボタンをクリックします。
インストールを実行しない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。



「はい」ボタンをクリックすると、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

「続行」ボタンをクリックしてください。

※ユーザー権限を「標準ユーザー」に設定している場合は、管理者アカウントのパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。



電子納品検査システムのインストールが実行されます。

2 検査する工事を開く

検査する工事データを電子納品検査システムにて開きます。

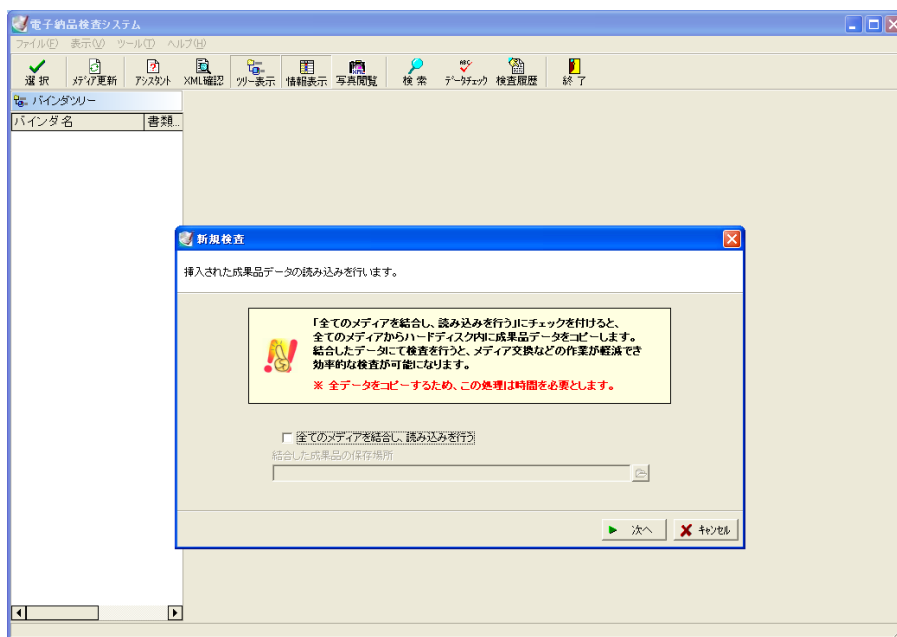
※電子納品支援システムの出力時に、電子納品検査システムの添付の方法を選択できます。
添付方法により工事データの起動方法が異なります。

(A) 工事データを開く

－ 電子納品検査システムの添付方法が『インストールせずに使用する』の場合 －

電子納品支援システムの出力時に、電子納品検査システムの添付の方法が『インストールせずに使用する』の場合は、以下の手順で検査する工事を開きます。

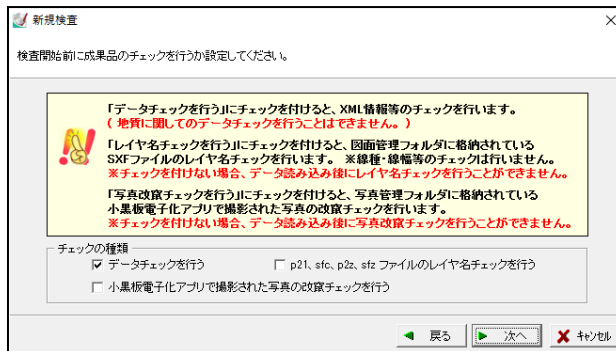
電子納品検査システムを起動直後、新規検査画面が表示されます。



「次へ」ボタンをクリックします。

メディアの結合の操作方法は【20ページ「すべてのメディアを結合して工事を開く」参照】

「次へ」ボタンをクリックすると、成果品のチェックを行うか設定する画面が表示されます。
※選択している要領（案）によっては表示されません。



チェックの種類欄から任意の項目にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックします。

※図面ファイル（p21、sfc、p2z、sfx）のレイヤ名チェックを行う場合は、
「p21、sfc、p2z、sfxファイルのレイヤ名チェックを行う」にチェックを付けてください。

チェックを付けない場合は、データ読み込み後にレイヤ名チェックを行う事ができません。

詳細は【29ページ「XML情報のエラー内容を確認する」参照】

【31ページ「レイヤ名のエラー内容を確認する」参照】

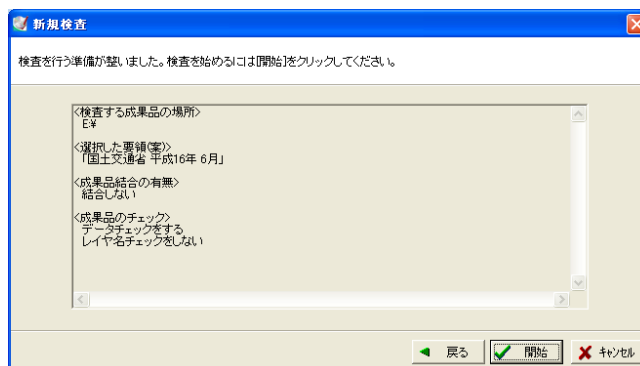
※小黑板電子化アプリで撮影された写真の改竄チェックを行う場合は、「小黑板電子化アプリで撮影された写真の改竄チェックを行う」にチェックを付けてください。

チェックを付けない場合は、データ読み込み後に写真改竄チェックを行う事ができません。

詳細は【29ページ「XML情報のエラー内容を確認する」参照】

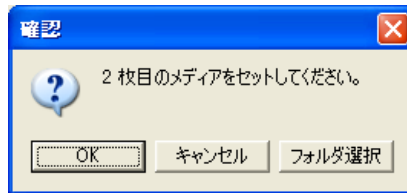
【33ページ「写真のエラー内容を確認する」参照】

「次へ」ボタンをクリックすると、検査を行う準備が整った事を知らせる画面が表示されます。



内容を確認し、「開始」ボタンをクリックします。

データが複数のメディアに分かれている場合は、下記のメッセージが表示されます。



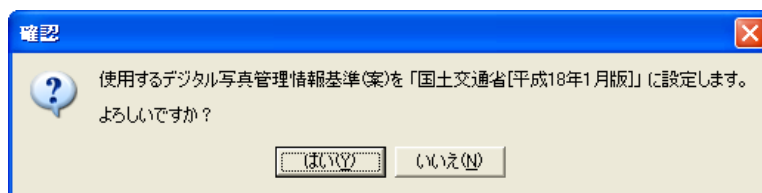
次のメディアをドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックします。

電子納品支援システムのデータ出力の際に、ディスクイメージで出力し、Diskフォルダが複数ある場合は、「フォルダ選択」ボタンをクリックし、次のDiskフォルダを選択してください。

※成果品の作成については、「電子納品支援システム」のメニューバー「ヘルプ」→「Q&A」を参照してください。

選択しているメディアに写真のデータが保存されている場合、写管屋で設定した適用基準（案）に設定するかを確認するメッセージが表示されます。

※下記のメッセージは、写真(PHOTO)データが保存されている場合のみ表示されます。



写真管理情報基準（案）の変更を行わない場合は、「はい」ボタンをクリックします。

写真管理情報基準（案）の変更を行う場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

適用基準（案）選択画面が表示されたら、任意のものに設定し直します。

詳細は【「写管屋 操作説明書」参照】

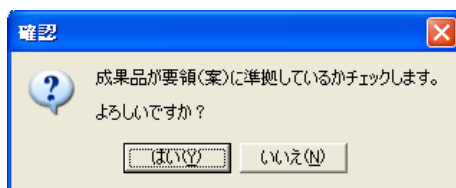
設定が終了すると、データの読み込みが行われます。

成果品のチェックを行う設定をした場合はデータのチェックが行われ、チェック結果に応じた情報メッセージが表示されます。

成果品のチェックの詳細は【29ページ「エラー内容を確認する」参照】

MEM01

選択している要領（案）によっては下記のメッセージが表示される事があります。



「はい」ボタンをクリックすると、成果品の内容（フォルダ構成やXML 情報等）が選択した要領（案）に準拠しているかチェックします。

【29ページ「エラー内容を確認する」参照】

「いいえ」ボタンをクリックすると、成果品の検査を行わず、電子納品検査システム画面が表示され、データの読み込みが行われます。

MEM02

データの読み込み設定中に 1 つ前の画面に戻る、またはデータ読み込みを中止する事ができます。

●データ読み込み設定中に 1 つ前の画面に戻る場合

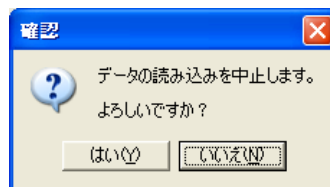
各設定画面で「戻る」ボタンをクリックしてください。

●データ読み込みを中止する場合

各設定画面で「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

右記のメッセージが表示されます。

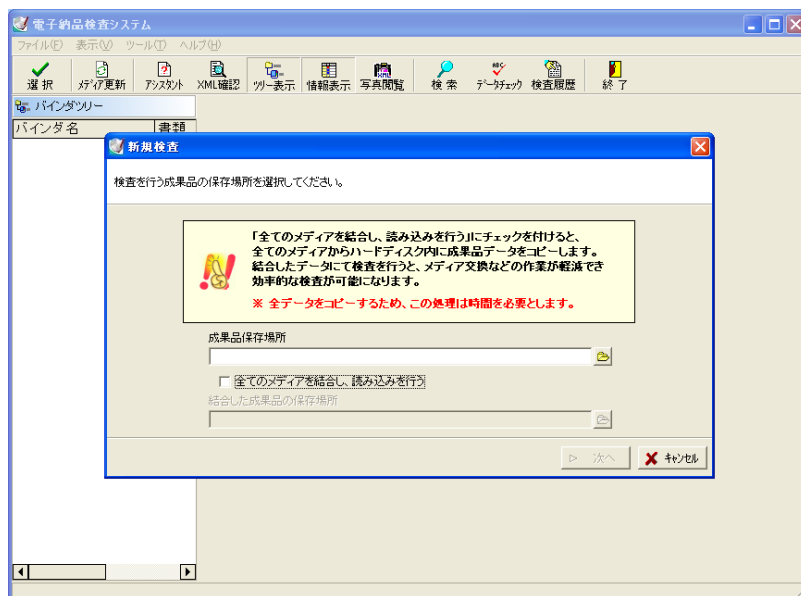
「はい」ボタンをクリックすると、データの読み込みを中止し、電子納品検査システムを終了します。



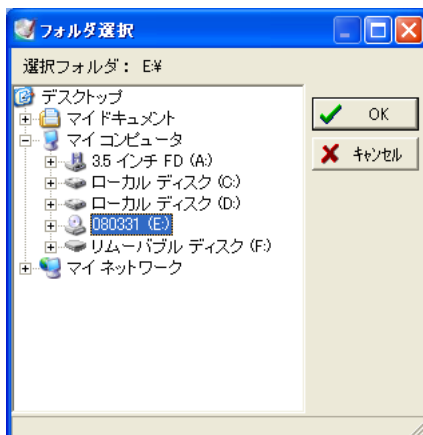
(B) 工事データを開く

－ 電子納品検査システムの添付方法が『インストールして使用する』の場合 －
電子納品支援システムの出力時に、電子納品検査システムの添付の方法が『インストールして使用する』の場合は、以下の手順で検査する工事を開きます。

電子納品検査システムを起動直後、新規検査画面が表示されます。

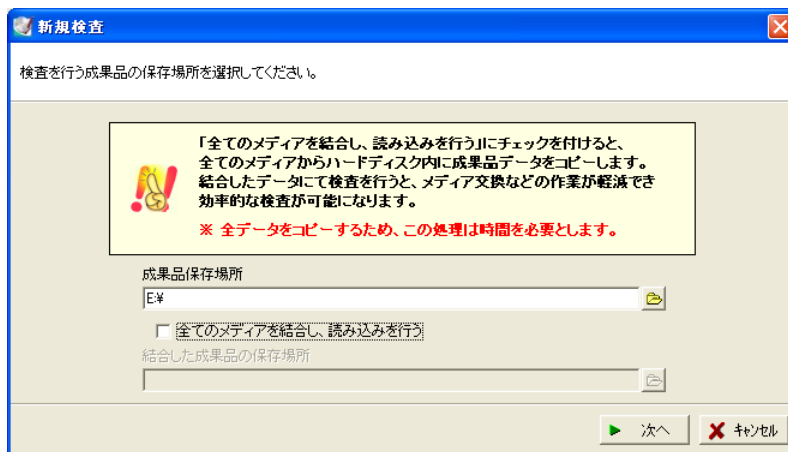


成果品保存場所欄の右側の  ボタンをクリックし、フォルダ選択画面を表示します。



成果品を保存したフォルダまたはドライブを選択し、「OK」ボタンをクリックします。
フォルダの選択を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリックすると、新規検査画面に戻り、成果品保存場所欄にフォルダ選択画面で選択した場所が表示されます。

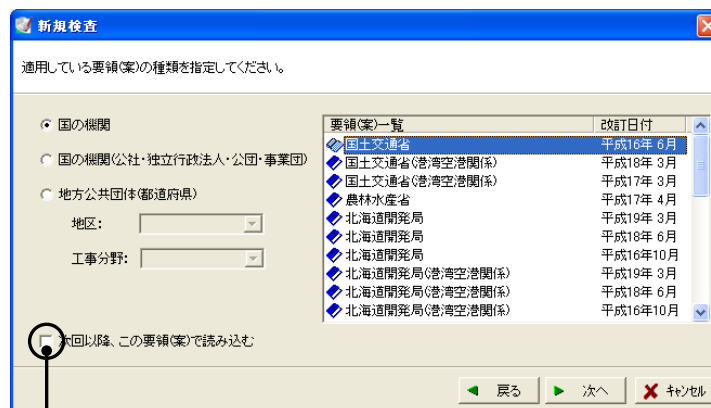


成果品保存場所の確認し、「次へ」ボタンをクリックします。

メディアの結合の操作方法は【20ページ「すべてのメディアを結合して工事を開く」参照】

「次へ」ボタンをクリックすると、適用している要領（案）の種類を指定する画面が表示されます。

※読み込む成果品に適用されている要領（案）によって、一覧の表示が異なります。



チェックを付けると、次回以降要領（案）を選択する画面が表示されなくなり、使用する要領（案）の確認メッセージのみが表示されます。

任意の要領（案）を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

要領（案）の選択方法は【15ページ「MEMO」参照】

要領（案）の選択方法は以下になります。

まず対象となる機関を「国の機関」「国の機関（公社・独立行政法人・公団・事業団）」
「地方公共団体（都道府県）」から選択します。

新規検査

適用している要領(案)の種類を指定してください。

☒ 国の機関

☐ 国の機関(公社・独立行政法人・公団・事業団)

☐ 地方公共団体(都道府県)

地区:

工事分野:

☐ 次回以降、この要領(案)で読み込む

要領(案)一覧	改訂日付
国土交通省	平成16年 6月
国土交通省(港湾空港関係)	平成18年 3月
国土交通省(港湾空港関係)	平成17年 3月
農林水産省	平成17年 4月
北海道開発局	平成19年 3月
北海道開発局	平成18年 6月
北海道開発局	平成16年10月
北海道開発局(港湾空港関係)	平成19年 3月
北海道開発局(港湾空港関係)	平成18年 6月
北海道開発局(港湾空港関係)	平成16年10月

戻る 次へ キャンセル

●国の機関・国の機関（公社・独立行政法人・公団・事業団）を選択した場合
画面右側の要領（案）一覧から任意の要領（案）をクリックし選択します。

●地方公共団体（都道府県）を選択した場合

最初に「地区」を指定し、次に「工事分野」を指定します。
※それぞれドロップダウンボタンをクリックし、表示される一覧から任意のものを指定してください。

地方公共団体(都道府県)

地区:

工事分野:

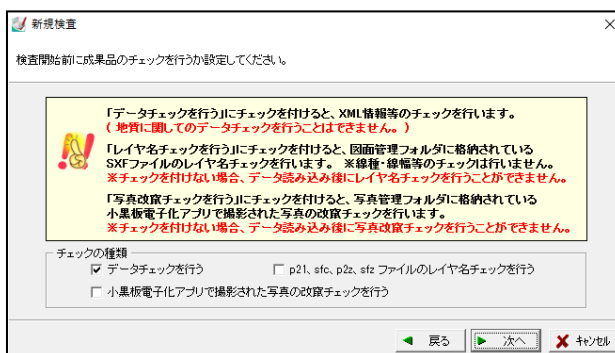
「地区」と「工事分野」を指定すると、画面右側の要領（案）一覧に対象の要領（案）が表示されます。一覧から任意の要領（案）をクリックし選択してください。

注）発注元の要領（案）が一覧にない場合は、背景色が付いている要領（案）の中から選択してください。

要領(案)一覧	改訂日付
千葉県	平成17年 2月
千葉県水道局	平成19年 8月
千葉市	平成18年 8月
神奈川県	平成18年 2月
横浜市	平成19年 3月
国土交通省	平成16年 6月

要領（案）を選択して「次へ」ボタンをクリックすると、成果品のチェックを行うか設定する画面が表示されます。

※選択している要領（案）によっては表示されません。



チェックの種類欄から任意の項目にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックします。

※図面ファイル（p21、sfc、p2z、sfz）のレイヤ名チェックを行う場合は、「p21、sfc、p2z、sfzファイルのレイヤ名チェックを行う」にチェックを付けてください。

チェックを付けない場合は、データ読み込み後にレイヤ名チェックを行う事ができません。

詳細は【29ページ「XML情報のエラー内容を確認する」参照】

【31ページ「レイヤ名のエラー内容を確認する」参照】

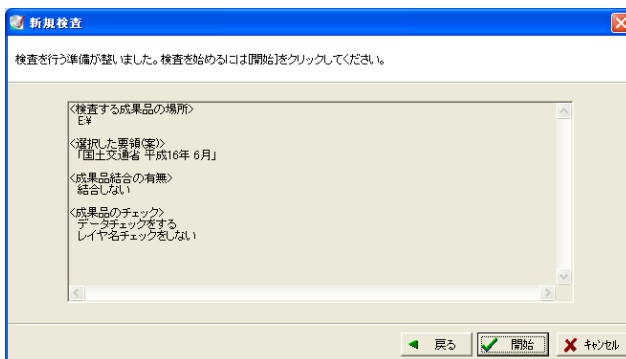
※小黒板電子化アプリで撮影された写真の改竄チェックを行う場合は、「小黒板電子化アプリで撮影された写真の改竄チェックを行う」にチェックを付けてください。

チェックを付けない場合は、データ読み込み後に写真改竄チェックを行う事ができません。

詳細は【29ページ「XML情報のエラー内容を確認する」参照】

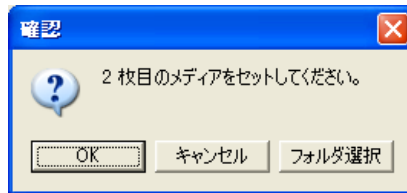
【33ページ「写真のエラー内容を確認する」参照】

「次へ」ボタンをクリックすると、検査を行う準備が整った事を知らせる画面が表示されます。



内容を確認し、「開始」ボタンをクリックします。

データが複数のメディアに分かれている場合は、下記のメッセージが表示されます。



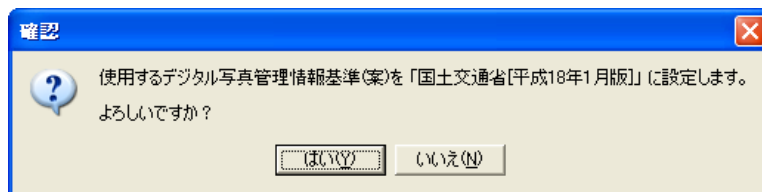
次のメディアをドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックします。

電子納品支援システムのデータ出力の際に、ディスクイメージで出力し、D i s k フォルダが複数ある場合は、「フォルダ選択」ボタンをクリックし、次のD i s k フォルダを選択してください。

※成果品の作成については、「電子納品支援システム」のメニューバー「ヘルプ」→「Q&A」を参照してください。

選択しているメディアに写真のデータが保存されている場合、写管屋で設定した適用基準（案）に設定するかを確認するメッセージが表示されます。

※下記のメッセージは、写真(PHOTO)データが保存されている場合のみ表示されます。



写真管理情報基準（案）の変更を行わない場合は、「はい」ボタンをクリックします。

写真管理情報基準（案）の変更を行う場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

適用基準（案）選択画面が表示されたら、任意のものに設定し直します。

詳細は【「写管屋 操作説明書」参照】

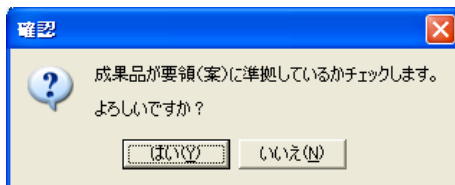
設定が終了すると、データの読み込みが行われます。

成果品のチェックを行う設定をした場合はデータのチェックが行われ、チェック結果に応じた情報メッセージが表示されます。

成果品のチェックの詳細については【29ページ「エラー内容を確認する」参照】

MEMO1

選択している要領（案）によっては以下のメッセージが表示される事があります。



「はい」ボタンをクリックすると、成果品の内容（フォルダ構成やXML 情報等）が選択した要領（案）に準拠しているかチェックします。

【29ページ「エラー内容を確認する」参照】

「いいえ」ボタンをクリックすると、成果品の検査を行わず、電子納品検査システム画面が表示され、データの読み込みが行われます。

MEMO2

データの読み込み設定中に 1 つ前の画面に戻る、またはデータ読み込みを中止する事ができます。

●データ読み込み設定中に 1 つ前の画面に戻る場合

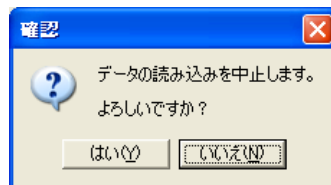
各設定画面で「戻る」ボタンをクリックしてください。

●データ読み込みを中止する場合

各設定画面で「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

右記のメッセージが表示されます。

「はい」ボタンをクリックすると、データの読み込みを中止し、電子納品検査システムを終了します。



① 検査する工事を切り替える

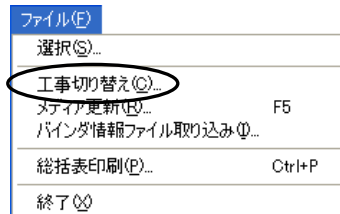
他の工事の検査を行う場合の工事の切り替え方法を説明します。

ただし、電子納品支援システムの出力時に、電子納品検査システムの添付の方法が『インストールして使用する』の場合のみ有効な機能となります。

メニューバーの「ファイル」→「工事切り替え」をクリックします。

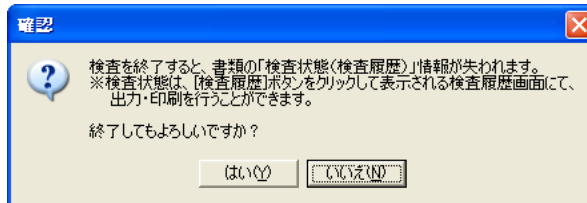
新規検査画面が表示されるので、検査する工事の選択を行ってください。

詳細は【9ページ「検査する工事を開く」参照】



●検査済書類がある場合

検査済書類がある状態で工事の切り替えを行うと、確認メッセージが表示されます。



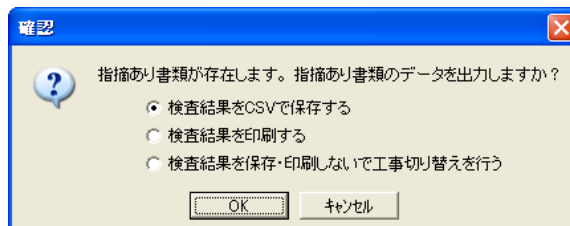
工事の切り替えを行うと、書類の検査状態の情報がすべて失われるため、必要であれば情報の出力を行ってください。

「はい」ボタンをクリックすると、工事の切り替えを実行します。

「いいえ」ボタンをクリックすると、工事の切り替えを中止します。

●指摘あり書類がある場合

指摘あり書類がある状態で工事の切り替えを行うと、確認メッセージが表示されます。



現在の工事を再度読み込んででもすべての書類の検査状態が「－（ハイフン）」に戻ってしまうため、指摘あり書類がある状態で工事の切り替えを行う場合は、「検査結果をCSVで保存する」または「検査結果を印刷する」のどちらかで出力を行い、記録を残してから切り替える事をお勧めします。

選択をしたら、「OK」ボタンをクリックします。

工事の切り替えを中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

出力方法の詳細は【58ページ「検査結果をCSV出力する」参照】

【57ページ「検査結果を印刷する」参照】

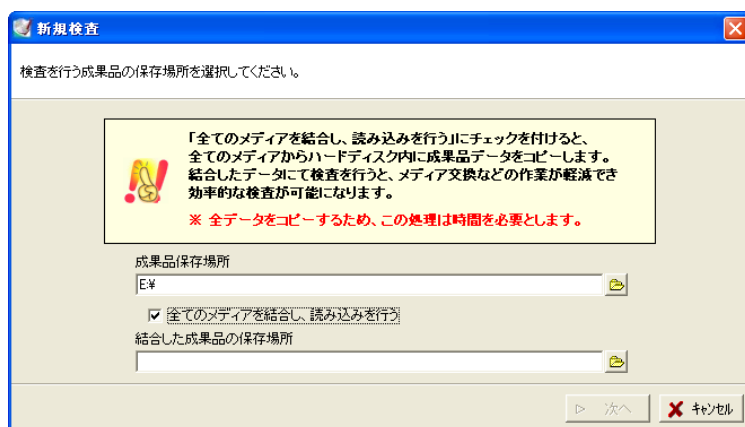
(C) すべてのメディアを結合して工事を開く

データ出力時に複数枚になったメディアのデータを結合し、ハードディスク内に保存してから工事を開きます。結合したデータを使用して検査を行うと、メディア交換の作業が軽減できるため、効率的に作業を進められます。

※電子納品支援システムの出力時の電子納品検査システムの添付の方法により、画面等が異なります。ここでは、添付の方法が『インストールして使用する』の場合の流れで説明をしています。

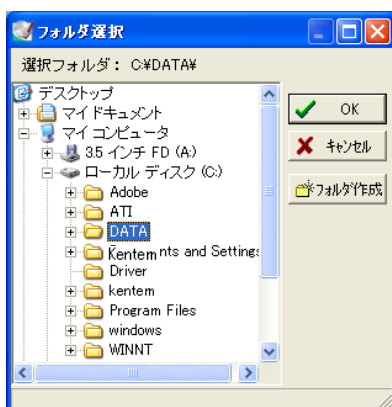
新規検査画面で成果品保存場所を設定します。

【13ページ「工事データを開く - 電子納品検査システムの添付方法が『インストールして使用する』の場合 -」参照】



「全てのメディアを結合し、読み込みを行う」にチェックを付けます。

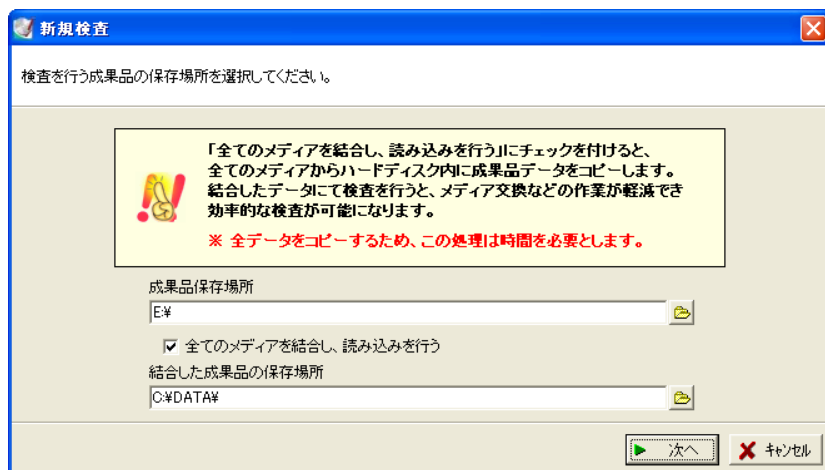
結合した成果品の保存場所欄右側の  ボタンをクリックし、フォルダ選択画面を表示します。



結合後の成果品を保存するフォルダを選択または新規にフォルダを作成し、「OK」ボタンをクリックします。

フォルダの選択を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

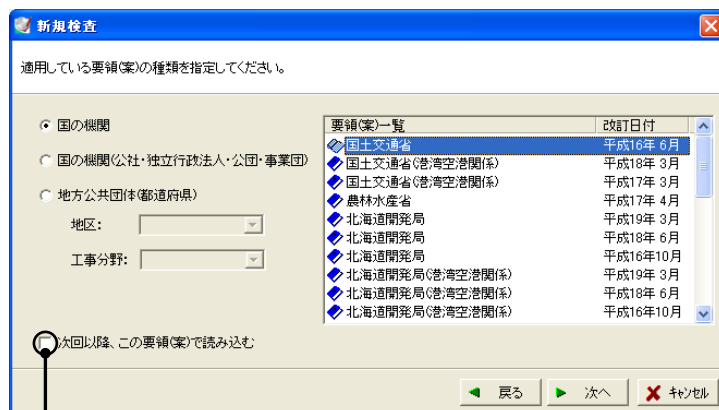
「OK」ボタンをクリックすると、新規検査画面に戻ります。



設定を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。

「次へ」ボタンをクリックすると、適用している要領（案）の種類を指定する画面が表示されます。

※読み込む成果品に適用されている要領（案）によって、一覧の表示が異なります。



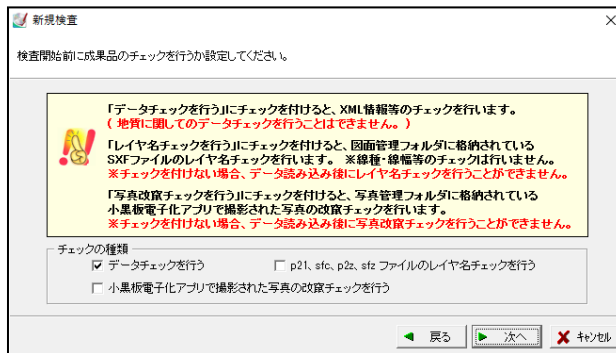
チェックを付けたと、次回以降要領（案）を選択する画面が表示されなくなり、使用する要領（案）の確認メッセージのみが表示されます。

任意の要領（案）を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

要領（案）の選択方法は【15ページ「MEMO」参照】

要領（案）を選択して「次へ」ボタンをクリックすると、成果品のチェックを行うか設定する画面が表示されます。

※選択している要領（案）によっては表示されません。



チェックの種類欄から任意の項目にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックします。

※図面ファイル（p21、sfc、p2z、sfz）のレイヤ名チェックを行う場合は、「p21、sfc、p2z、sfzファイルのレイヤ名チェックを行う」にチェックを付けてください。

チェックを付けない場合は、データ読み込み後にレイヤ名チェックを行う事ができません。

詳細は【29ページ「XML情報のエラー内容を確認する」参照】

【31ページ「レイヤ名のエラー内容を確認する」参照】

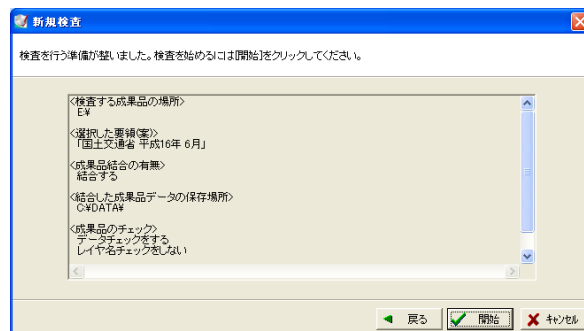
※小黒板電子化アプリで撮影された写真の改竄チェックを行う場合は、「小黒板電子化アプリで撮影された写真の改竄チェックを行う」にチェックを付けてください。

チェックを付けない場合は、データ読み込み後に写真改竄チェックを行う事ができません。

詳細は【29ページ「XML情報のエラー内容を確認する」参照】

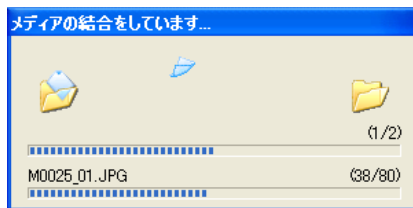
【33ページ「写真のエラー内容を確認する」参照】

「次へ」ボタンをクリックすると、検査を行う準備が整った事を知らせる画面が表示されます。

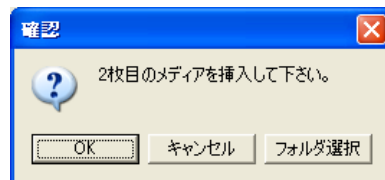


内容を確認し、「開始」ボタンをクリックします。

メディアの結合を開始します。しばらくお待ちください。



下記のメッセージが表示されます。

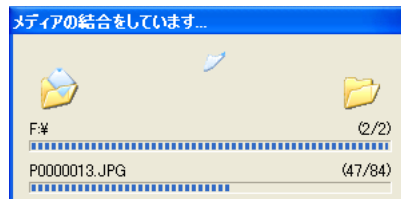


次のメディアをドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックします。

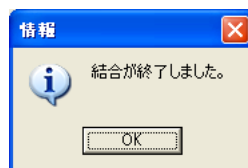
電子納品支援システムのデータ出力の際に、ディスクイメージで出力し、D i s kフォルダが複数ある場合は、「フォルダ選択」ボタンをクリックし、次のD i s kフォルダを選択してください。

※成果品の作成については、「電子納品支援システム」のメニューバー「ヘルプ」→「Q&A」を参照してください。

メディアの結合を開始します。しばらくお待ちください。



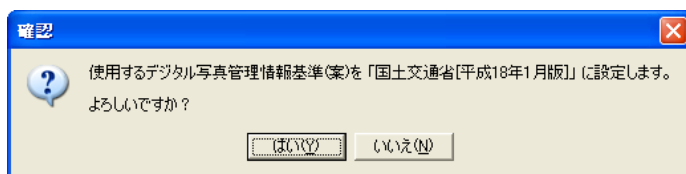
お持ちのメディアがすべて結合されると、下記のメッセージが表示されます。



「OK」ボタンをクリックしてください。

選択しているメディアに写真のデータが保存されている場合、写管屋で設定した適用基準（案）に設定するかを確認するメッセージが表示されます。

※下記のメッセージは、写真（PHOTO）データが保存されている場合のみ表示されます。

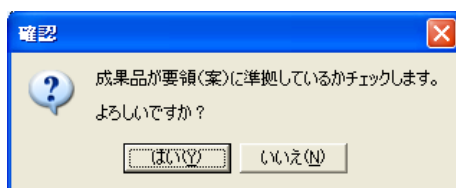


写真管理情報基準（案）の変更を行わない場合は、「はい」ボタンをクリックします。
写真管理情報基準（案）の変更を行う場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。
適用基準（案）選択画面が表示されたら、任意のものに設定し直します。
詳細は【「写管屋 操作説明書」参照】

設定が終了すると、データの読み込みが行われます。
成果品のチェックを行う設定をした場合はデータのチェックが行われ、チェック結果に応じた情報メッセージが表示されます。
成果品のチェックの詳細については【29ページ「エラー内容を確認する」参照】

MEMO1

選択している要領（案）によっては以下のメッセージが表示される事があります。



「はい」ボタンをクリックすると、成果品の内容（フォルダ構成やXML 情報等）が選択した要領（案）に準拠しているかチェックします。

【29ページ「エラー内容を確認する」参照】

「いいえ」ボタンをクリックすると、成果品の検査を行わず、電子納品検査システム画面が表示され、データの読み込みが行われます。

MEM02

データの読み込み設定中に1つ前の画面に戻る、またはデータ読み込みを中止する事ができます。

●データ読み込み設定中に1つ前の画面に戻る場合

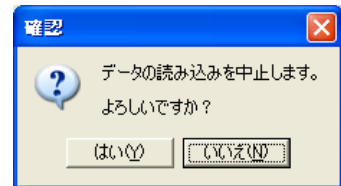
各設定画面で「戻る」ボタンをクリックしてください。

●データ読み込みを中止する場合

各設定画面で「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

右記のメッセージが表示されます。

「はい」ボタンをクリックすると、データの読み込みを中止し、電子納品検査システムを終了します。



3 画面の表示設定と確認を行う

画面の表示設定を行ったり、バインダの表示を電子納品支援システムと同じバインダ構成にする事ができます。

(A) 画面の表示設定を行う

画面の表示を任意で設定して確認をしやすくします。

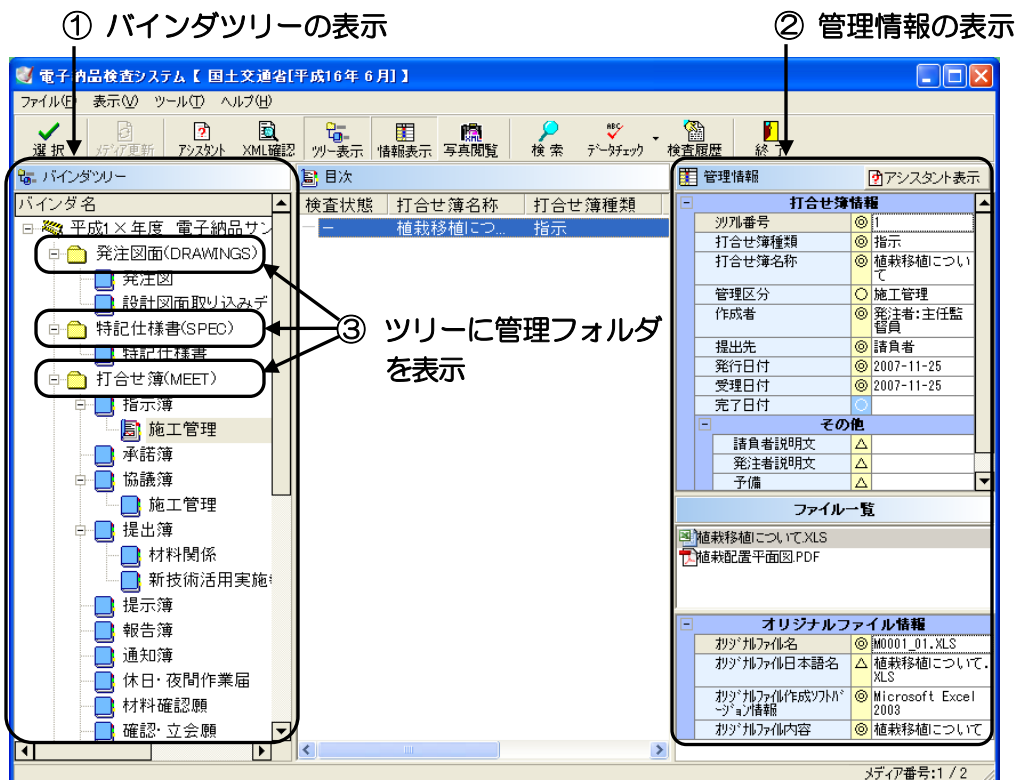
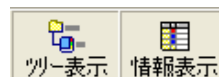
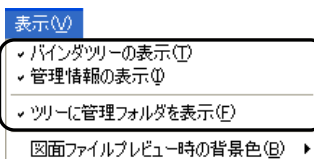
メニューバーの「表示」をクリックすると、

- ①バインダツリーの表示
- ②管理情報の表示
- ③ツリーに管理フォルダを表示

のメニューが表示されます。

それぞれのメニューをクリックしてチェックを付けると、画面に表示されます。

※「バインダツリーの表示」「管理情報の表示」は、電子納品検査システム画面上にボタンがあります。

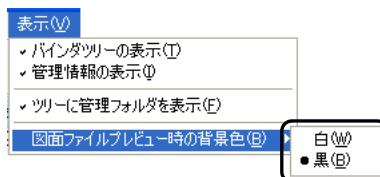


(B) 図面ファイルの背景色を設定する

図面ファイルをプレビューする際の背景色を設定することができます。

メニューバーの「表示」→「図面ファイルプレビュー時の背景色」をクリックし、「白」「黒」のどちらかをクリックして「●」を付けます。

初期状態は、「黒」が選択されています。



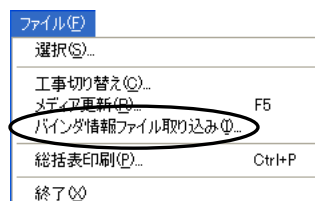
(C) バインダ情報ファイルを読み込む

－ 電子納品支援システムにて作成時と同じバインダ構成にする －

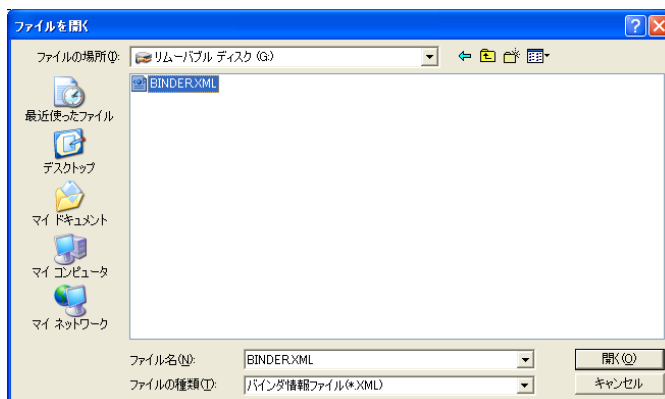
電子納品支援システムにてバインダの情報をXML出力した場合、XMLデータを電子納品検査システムで読み込むと、電子納品支援システムにて作成時と同様のバインダ構成で検査・閲覧ができます。

※成果品の直下にバインダ情報ファイルが保存されている場合、工事を読み込んだ際に自動でバインダ情報が読み込まれます。

メニューバーの「ファイル」→「バインダ情報ファイル取り込み」をクリックします。



ファイルを開く画面が表示されます。



ファイルの場所欄のドロップダウンボタンをクリックし、表示される一覧からファイルを保存したフォルダを選択します。

フォルダの選択をしたら、バインダ情報ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックしてください。

読み込みを中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

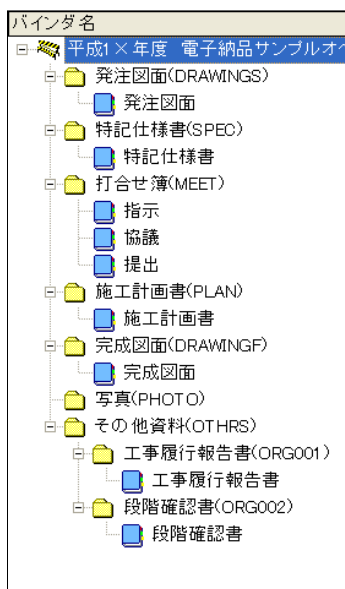
※読み込んでいる工事とバインダ情報ファイルが異なる場合、下記のメッセージが表示されます。



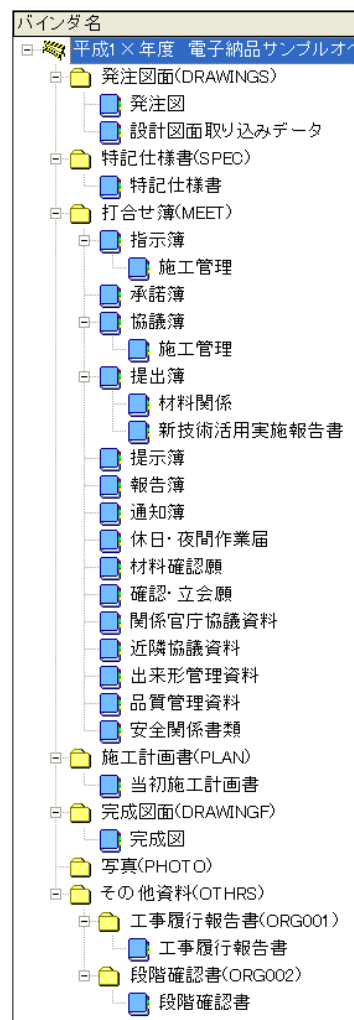
「OK」ボタンをクリック後、読み込んでいる工事とバインダ情報ファイルの確認を行ってください。

例) バインダ表示の違い

＜バインダ情報ファイル読み込み前＞



＜バインダ情報ファイル読み込み後＞



※バインダ情報のファイルを読み込む前は、各管理情報（XML 情報）に記入された内容から自動的にバインダを作成しています。

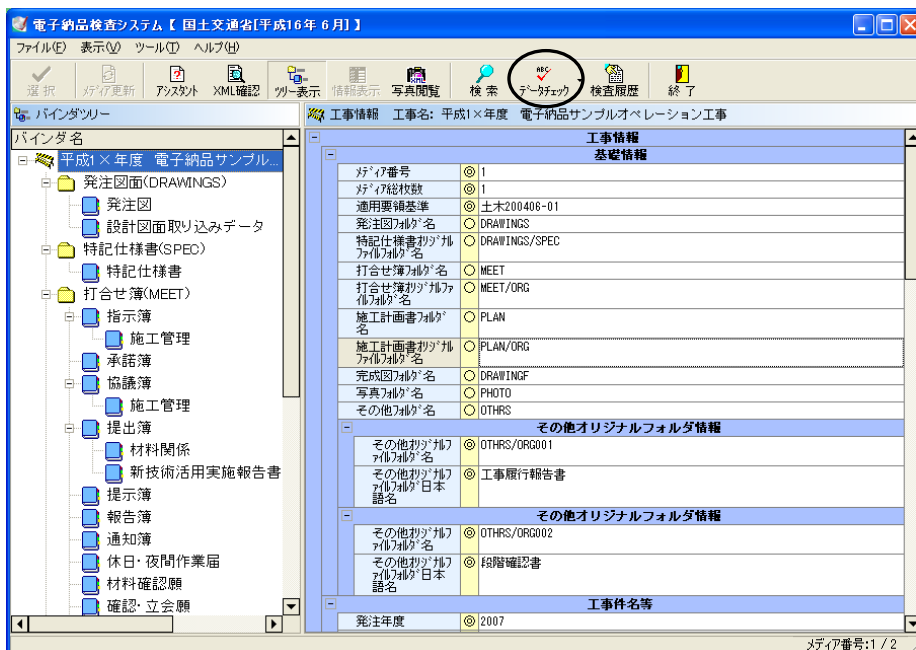
4 エラー内容を確認する

工事の情報とレイヤ名・写真の改竄チェックを行うことができます。

(A) XML情報のエラー内容を確認する

読み込んでいる工事の情報をチェックします。

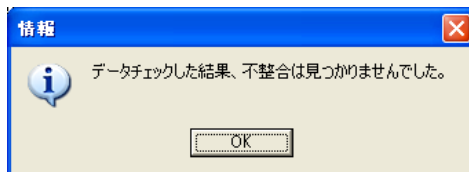
電子納品検査システム画面の「データチェック」ボタンをクリックしてください。



●不整合がない場合

右記のメッセージが表示されます。

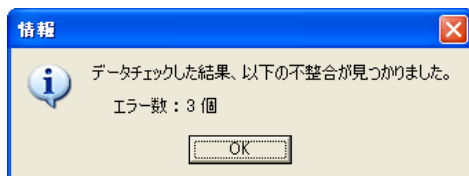
「OK」ボタンをクリックしてデータチェックを終了します。



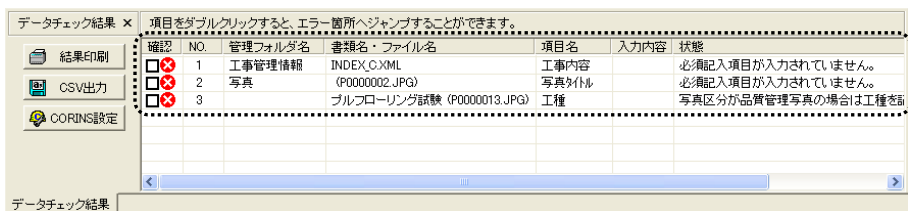
●不整合がある場合

右記のようなメッセージが表示されます。

「OK」ボタンをクリックしてメッセージを閉じ、エラー内容の確認を行います。



電子納品検査システム画面下にエラー内容が表示されます。



エラー項目をダブルクリックすると、エラー箇所へジャンプするので、詳細を確認してください。

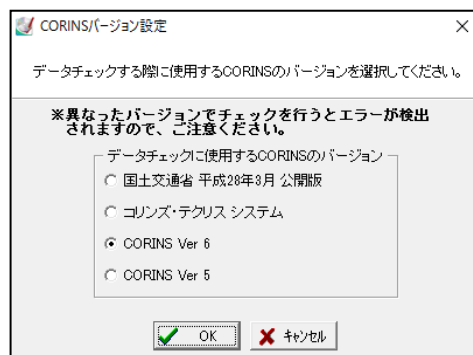
写真については、弊社の写真屋XMLビューアがインストールされている場合のみXMLビューアが起動します。エラー箇所を絞り込み、詳細を確認してください。

エラーの内容を確認したら、成果品を作成したシステムにてデータの修正を行ってください。

MEMO

データチェックする際に使用するCORINSのバージョンが登録されているデータと異なると、データチェック時にエラーが検出される事があります。

CORINSのバージョン設定を確認する場合は、データチェック結果画面の「CORINS設定」ボタンをクリックし、CORINSバージョン設定画面を表示します。



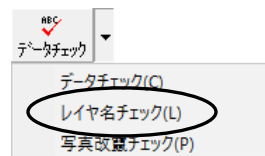
使用するCORINSのバージョンを確認・設定し、「OK」ボタンをクリックします。
設定を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

(B) レイヤ名のエラー内容を確認する

SXF (p21、sfc、p2z、sfz) 形式の図面を対象にレイヤ名のチェックを行います。

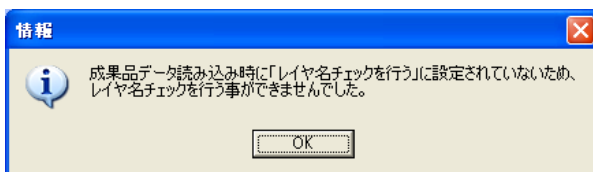
※選択した要領(案)によってはレイヤ名チェックが表示されません。

「データチェック」ボタン右の▼ボタン→「レイヤ名チェック」をクリックしてください。



MEMO

成果品データを読み込む際に「p21、sfc、p2z、sfzファイルのレイヤ名チェックを行う」にチェックを付けていない場合、下記のメッセージが表示されます。



メッセージの内容を確認し、「OK」ボタンをクリックします。

レイヤ名チェックを行う場合は、工事データを読み込み直す必要があります。

電子納品検査システムを一度終了して再度起動する、またはメニューバーの「ファイル」→「工事切り替え」から工事データを読み込み直し、新規検査画面の成果品をチェックする設定画面にて、「p21、sfc、p2z、sfzファイルのレイヤ名チェックを行う」にチェックを付けてください。

詳細は【9ページ「検査する工事を開く」参照】

【18ページ「検査する工事を切り替える」参照】

※上記手順を行うと、検査状態の情報がすべて破棄されるのでご注意ください。

必要であれば情報の出力を行ってください。

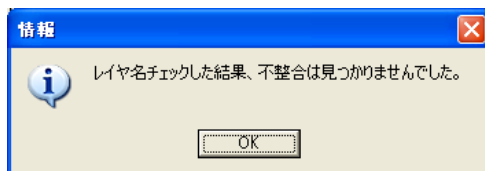
詳細は【58ページ「検査結果をCSV出力する」参照】

【57ページ「検査結果を印刷する」参照】

●不整合がない場合

右記のメッセージが表示されます。

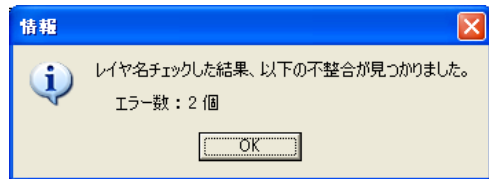
「OK」ボタンをクリックしてレイヤ名チェックを終了します。



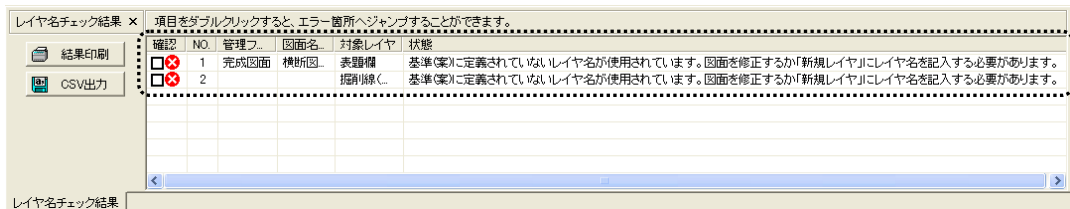
●不整合がある場合

右記のようなメッセージが表示されます。

「OK」ボタンをクリックしてメッセージを閉じ、エラー内容の確認を行います。



電子納品検査システム画面下にエラー内容が表示されます。



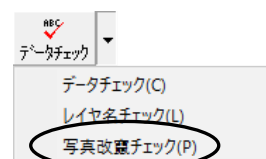
エラー項目をダブルクリックすると、図面ファイルへジャンプするので、対象図面を確認してください。

エラーの内容を確認したら、成果品を作成したシステムにてデータの修正を行ってください。

(C) 写真のエラー内容を確認する

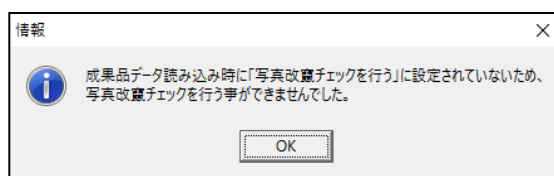
小黑板電子化アプリで撮影された写真を対象に改竄チェックを行います。

「データチェック」ボタン右の▼ボタン→「写真改竄チェック」をクリックしてください。



MEMO

成果品データを読み込む際に「小黑板電子化アプリで撮影された写真の改竄チェックを行う」にチェックを付けていない場合、下記のメッセージが表示されます。



メッセージの内容を確認し、「OK」ボタンをクリックします。

写真改竄チェックを行う場合は、工事データを読み込み直す必要があります。

電子納品検査システムを一度終了して再度起動する、またはメニューバーの「ファイル」→「工事切り替え」から工事データを読み込み直し、新規検査画面の成果品をチェックする設定画面にて、「小黑板電子化アプリで撮影された写真の改竄チェックを行う」にチェックを付けてください。

詳細は【9ページ「検査する工事を開く」参照】

【18ページ「検査する工事を切り替える」参照】

※上記手順を行うと、検査状態の情報がすべて破棄されるのでご注意ください。

必要であれば情報の出力を行ってください。

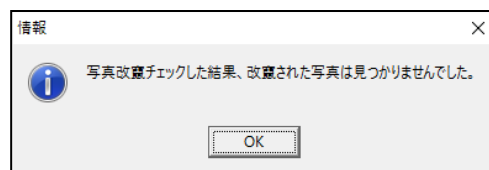
詳細は【58ページ「検査結果をCSV出力する」参照】

【57ページ「検査結果を印刷する」参照】

●不整合がない場合

右記のメッセージが表示されます。

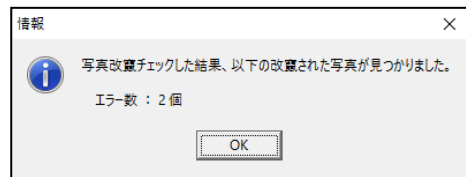
「OK」ボタンをクリックしてレイヤ名チェックを終了します。



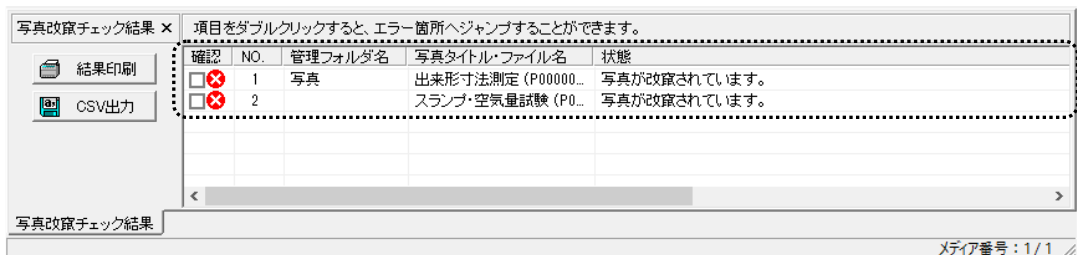
●不整合がある場合

右記のようなメッセージが表示されます。

「OK」ボタンをクリックしてメッセージを
閉じ、エラー内容の確認を行います。



電子納品検査システム画面下にエラー内容が表示されます。



エラー項目をダブルクリックすると、弊社の写管屋XMLビューアがインストールされている場合のみXMLビューアが起動します。エラー箇所を絞り込み、詳細を確認してください。

エラーの内容を確認したら、成果品を作成したシステムにて写真の変更等を行ってください。

5 エラー内容を入力する

データチェック結果とレイヤ名チェック結果を出力し、エラー内容を確認することができます。

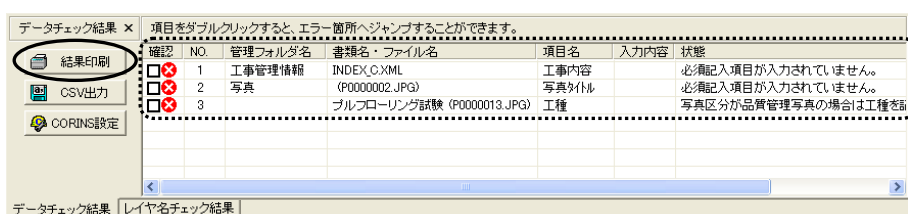
(A) エラー内容を印刷する

データチェック、またはレイヤ名チェック後にエラー内容の印刷を行います。

ここではデータチェック結果を例に説明します。

※レイヤ名チェック結果を印刷する場合も同じ操作になります。

電子納品検査システム画面下の「結果印刷」ボタンをクリックします。



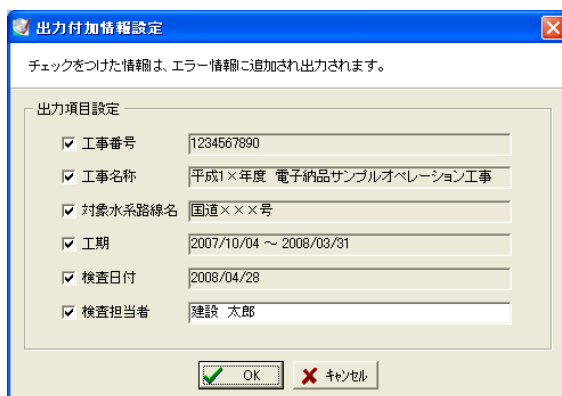
出力付加情報設定画面が表示されます。

印刷する項目にチェックを付けます。

検査担当者の印刷を行う場合は、チェックを付けた後に検査担当者名を直接入力してください。

設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。

印刷を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



「OK」ボタンをクリックすると、印刷画面が表示されます。

プリンタ・印刷部数等を設定します。

印刷を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックします。

印刷を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



例) データチェック結果

(B) エラー内容をCSV出力する

ここではデータチェック結果を例に説明します。

※レイヤ名チェック結果をCSV出力する場合も同じ操作になります。

電子納品検査システム画面下の「CSV出力」ボタンをクリックします。

- 36 -

出力付加情報設定画面が表示されます。

出力付加情報設定

チェックをつけた情報は、エラー情報に追加され出力されます。

出力項目設定

- ☒ 工事番号 1234567890
- ☒ 工事名称 平成1×年度 電子納品サンプルオペレーション工事
- ☒ 対象水系路線名 国道×××号
- ☒ 工期 2007/10/04 ~ 2008/03/31
- ☒ 検査日付 2008/04/28
- ☒ 検査担当者 建設 太郎

OK キャンセル

出力する項目にチェックを付けます。

検査担当者の出力を行う場合は、チェックを付けた後に検査担当者名を直接入力してください。

出力を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックします。

出力を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリックすると、名前を付けて保存画面が表示されます。

名前を付けて保存

保存する場所: リムーバブル ディスク (G:)

最近使ったファイル

デスクトップ

マイ ドキュメント

マイ コンピュータ

マイ ネットワーク

ファイル名: エラー結果

ファイルの種類: CSVファイル (*.csv)

保存 キャンセル

保存する場所欄のドロップダウンボタンをクリックし、表示される一覧から保存するフォルダを選択します。

ファイル名欄に任意のファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。

保存を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

6 書類を検査する

書類の検査を行います。

また、検査を行う際に有効な機能についての説明を行います。

(A) 関連資料（関連打合せ簿・図面・写真）と比較をしながら検査する

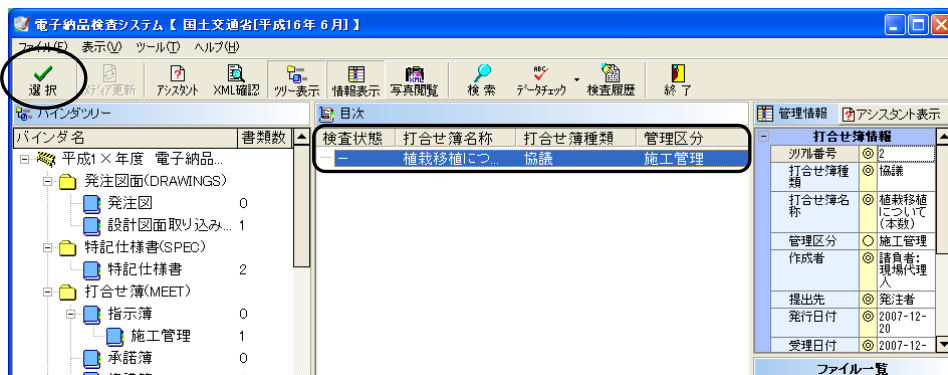
関連資料（関連打合せ簿・図面・写真）と比較をしながら、書類の検査を行います。

書類検査の簡単な流れ

①検査する書類をクリックにて選択し、「選択」ボタンをクリックします。

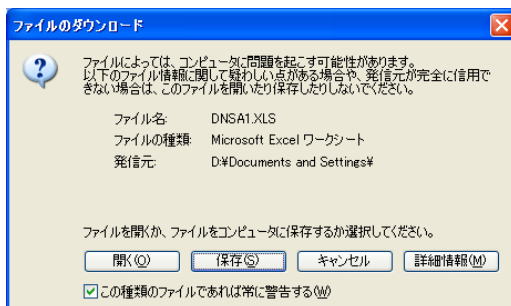
書類をダブルクリックしても同様です。

※この時点では、まだ検査を行っていないため、検査状況が「－（ハイフン）」となっています。



※お使いの環境によっては、ファイルのダウンロード画面が表示されます。

また、画面の内容も異なります。



「開く」ボタンをクリックすると、選択している書類を開きます。

「保存」ボタンをクリックすると、選択している書類の保存を行います。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、書類の読み込みを中止します。

「詳細情報」ボタンをクリックすると、Microsoft Internet Explorer が起動します。

- ②「選択」ボタンをクリックすると、書類検査画面が表示され、選択した書類（打合せ簿）の確認が行えます。

書類検査 - 植栽移植について(本数)

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

書類検査状態
☒ 検査済 ☐ 指摘あり

前書類 次書類 関連資料 開じる

前ファイル 植栽移植について(本数).XLS 次ファイル 道路植栽移植 明細票.XLS

植栽移植について(本数).XLS

様式 - 1

工事打合せ簿

発議者	<input type="radio"/> 発注者 <input checked="" type="radio"/> 諸負者	発議年月日	平成19年12月20日
発議事項	<input type="radio"/> 指示 <input checked="" type="radio"/> 協議 <input type="radio"/> 通知 <input type="radio"/> 承諾 <input type="radio"/> 提出 <input type="radio"/> 届出 <input type="radio"/> その他 ()		
工事名	平成1×年度 電子納品サンプルデータ工事		
(内容)	植栽移植について(本数) 標記の件について、植栽移植を行い以下の本数の結果となりましたので、協議します。		

検査コメント:

- ③選択している書類に添付されている書類の確認を行います。
 「次ファイル」ボタンをクリックしてください。

書類検査 - 植栽移植について(本数)

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

書類検査状態
☒ 検査済 ☐ 指摘あり

前書類 次書類 関連資料 開じる

前ファイル 植栽移植について(本数).XLS 次ファイル 道路植栽移植 明細票.XLS

植栽移植について(本数).XLS

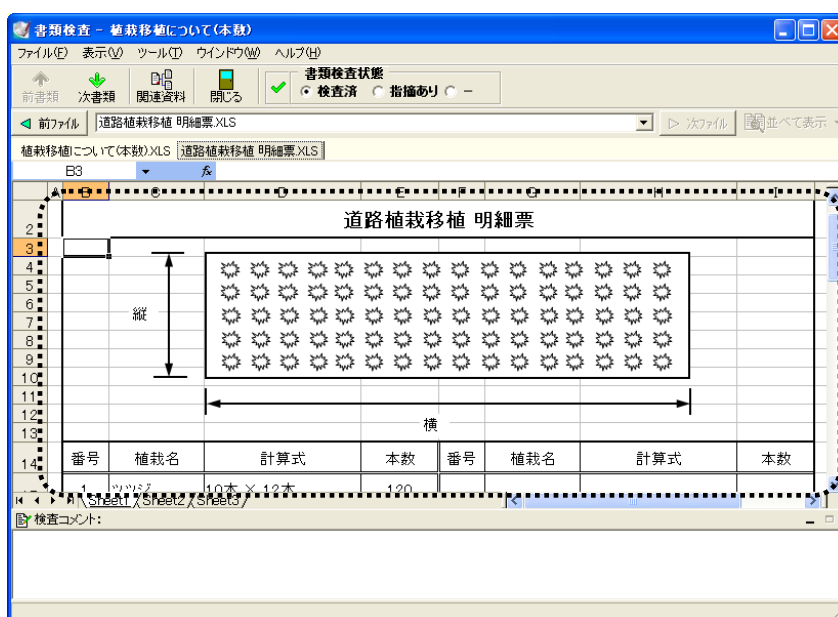
様式 - 1

工事打合せ簿

発議者	<input type="radio"/> 発注者 <input checked="" type="radio"/> 諸負者	発議年月日	平成19年12月20日
発議事項	<input type="radio"/> 指示 <input checked="" type="radio"/> 協議 <input type="radio"/> 通知 <input type="radio"/> 承諾 <input type="radio"/> 提出 <input type="radio"/> 届出 <input type="radio"/> その他 ()		
工事名	平成1×年度 電子納品サンプルデータ工事		
(内容)	植栽移植について(本数) 標記の件について、植栽移植を行い以下の本数の結果となりましたので、協議します。		

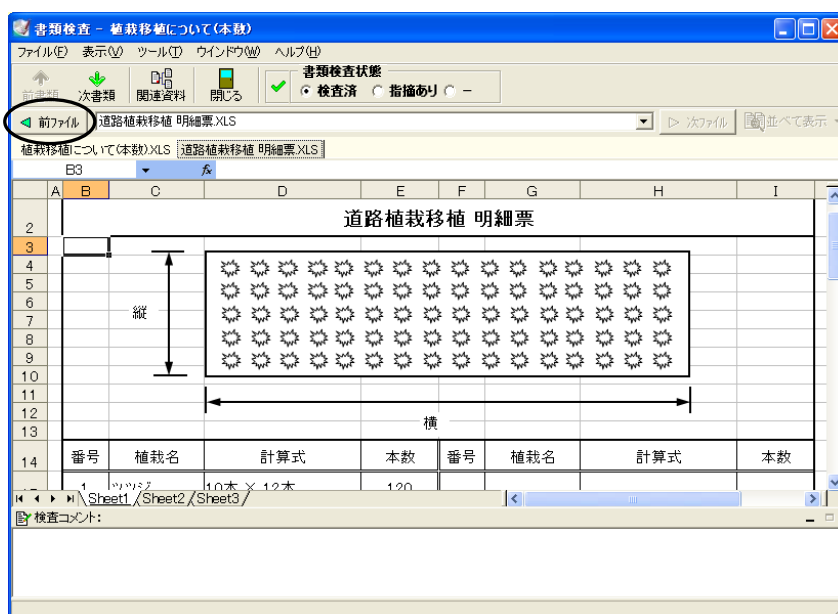
検査コメント:

添付書類の確認が行えます。



④関連資料の確認を行います。

関連資料の確認の際に、はじめに打合せ簿の比較を行うため、「前ファイル」ボタンをクリックし、プレビューに打合せ簿を表示してください。



プレビューに打合せ簿が表示されたら、「関連資料」ボタンをクリックします。

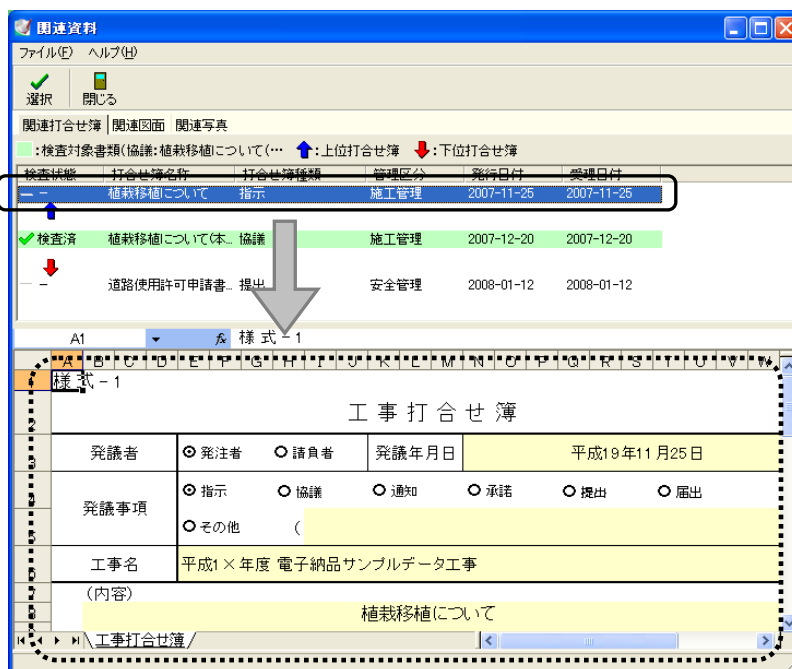
⑤関連資料画面が表示されます。

ここでは、打合せ簿に関連付けされた資料（上位打合せ簿・下位打合せ簿）の確認ができます。

検査状態	打合せ簿名称	打合せ簿種類	管理区分	発行日付	受理日付
—	植栽移植について	指示	施工管理	2007-11-25	2007-11-25
✓ 検査済	植栽移植について(本数) 協議	協議	施工管理	2007-12-20	2007-12-20
—	道路使用許可申請書	提出	安全管理	2008-01-12	2008-01-12

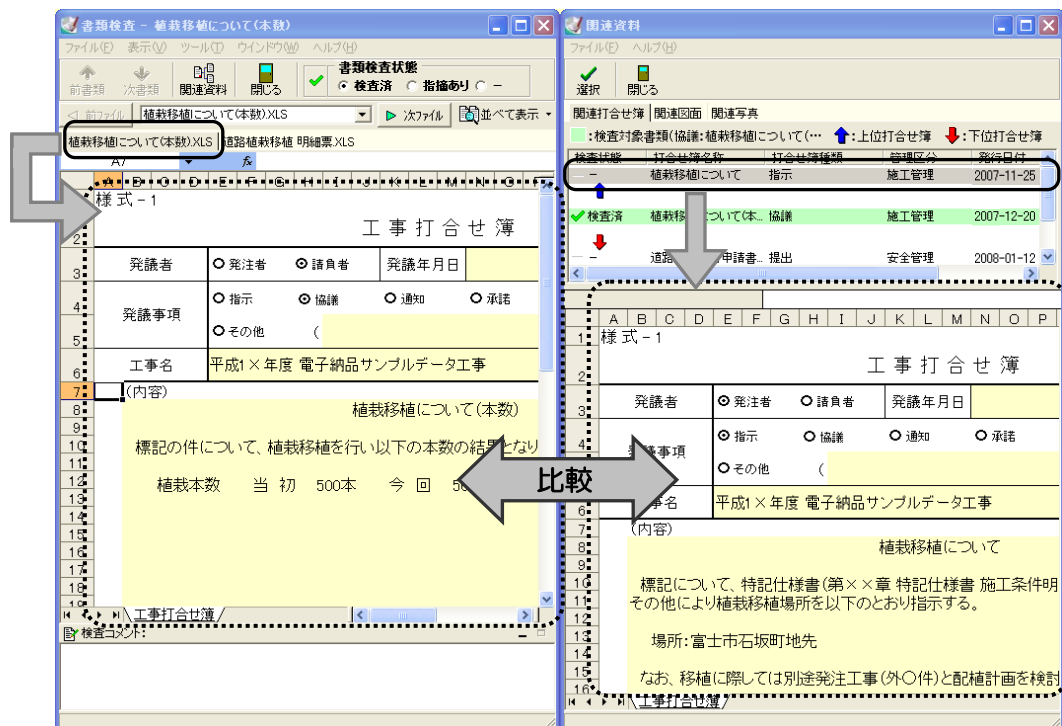
タブを切り替える事で、関連打合せ簿・図面・写真のそれぞれの確認が行えます。

確認を行う関連資料の上でクリックをすると、画面下にプレビューが表示されます。



書類検査画面の打合せ簿と関連資料画面のプレビューの内容を比較してください。

書類検査画面の「並べて表示」ボタンをクリックすると、画面が以下のように表示されます。【47ページ「画面を並べて表示する」参照】



⑥それぞれの添付書類の比較を行います。

関連資料画面の「選択」ボタンをクリックします。

関連資料

ファイル(F) ヘルプ(H)

選択 開じる

関連打合せ簿 | 関連図面 | 関連写真

検査対象書類(協議:植栽移植について(…)) ↑:上位打合せ簿 ↓:下位打合せ簿

検査状態	打合せ簿名称	打合せ簿種類	管理区分	発行日付	受理日付
—	植栽移植について	指示	施工管理	2007-11-25	2007-11-25
✓検査済	植栽移植について(体) 協議	施工管理		2007-12-20	2007-12-20
—	道路使用許可申請書-提出	安全管理		2008-01-12	2008-01-12

A7 次

様式-1

工事打合せ簿

発議者	◎発注者 ◎請負者	発議年月日	平成19年11月25日
発議事項	◎指示 ◎協議 ◎通知 ◎承諾 ◎提出 ◎届出 ◎その他 ()		
工事名	平成1×年度 電子納品サンプルデータ工事		
(内容)	植栽移植について		

工事打合せ簿 /

書類検査画面が表示されます。

それぞれの添付書類の比較を行うので、「次ファイル」ボタンをクリックします。

書類検査 - 植栽移植について

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

前書類 次書類 関連資料 開じる 書類検査状態
◎検査済 ○指摘あり ○-

前ファイル 植栽移植について.XLS 次ファイル 並べて表示

植栽移植について.XLS | 植栽配置平面図.PDF

A7 次

様式-1

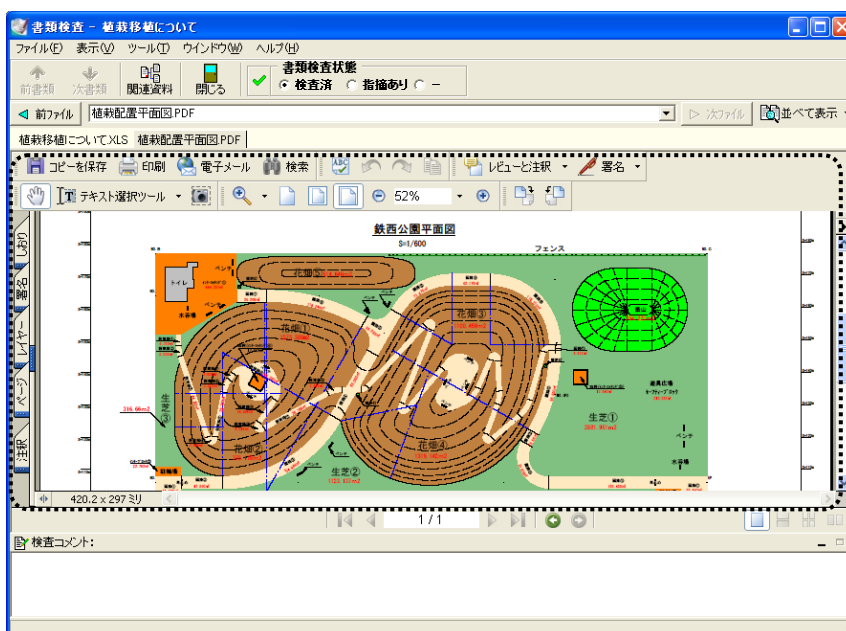
工事打合せ簿

発議者	◎発注者 ◎請負者	発議年月日	平成19
発議事項	◎指示 ◎協議 ◎通知 ◎承諾 ◎提出		

工事打合せ簿 /

検査コメント:

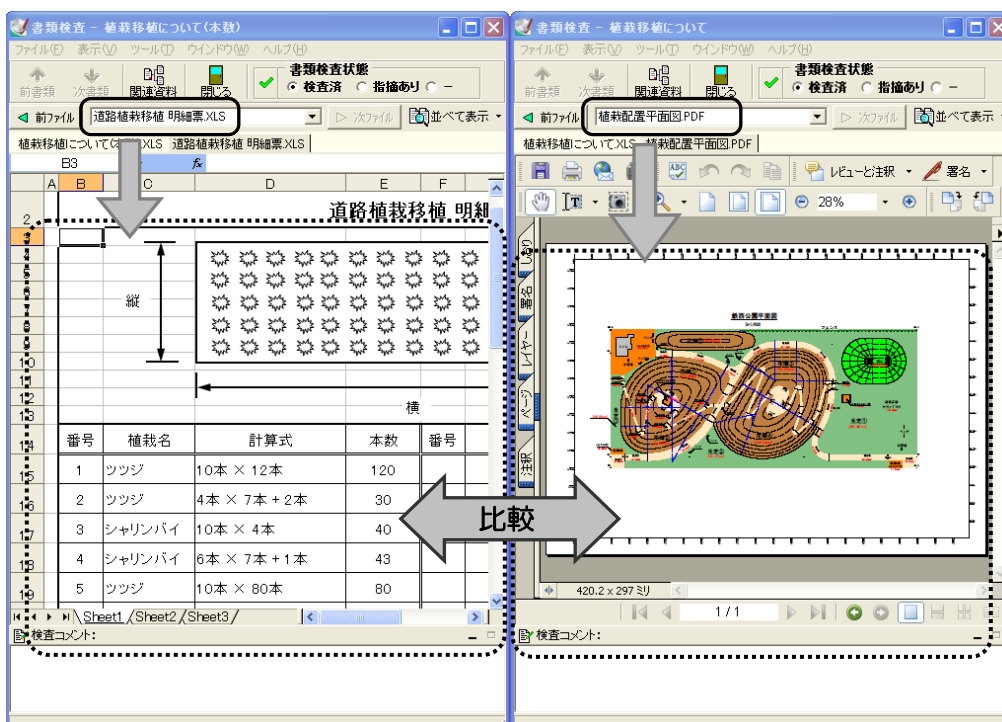
添付書類の内容がプレビュー表示されます。



同様にもう1つの書類検査画面の添付書類をプレビューに表示します。

それぞれの添付書類を表示したら、内容の比較を行ってください。

書類検査画面の「並べて表示」ボタンをクリックすると、画面が以下のように表示されます。【47ページ「画面を並べて表示する」参照】



MEMO

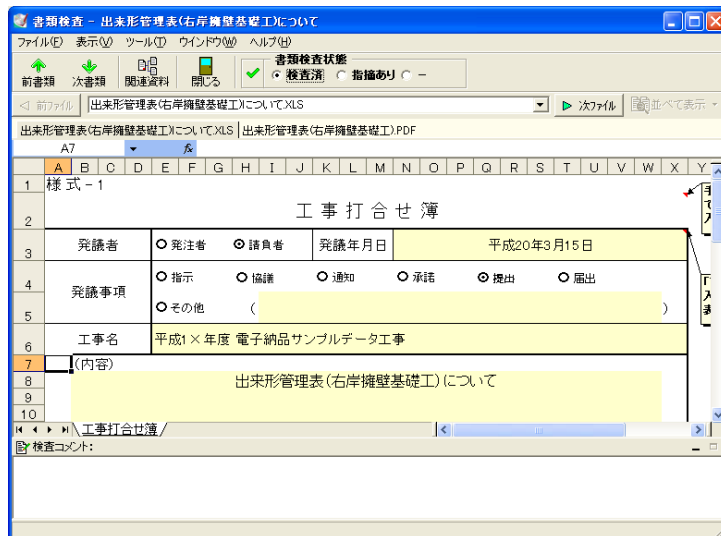
以下のように添付書類と写真データを比較してプレビュー表示し、内容の確認を行う事が可能です。

The screenshot shows two windows from a software application. The left window, titled '書類検査 - 出来形管理表(法留基礎工)について', displays a table with columns for '設計値' (Design Value), '実測値' (Actual Value), and '差' (Difference). The right window, titled '関連資料', shows a list of related documents and a photograph of a construction site. A large grey arrow labeled '比較' (Comparison) points from the table in the left window to the photograph in the right window. A callout box in the photograph highlights the text 'W=230 (228)' and 'h=368 (388)', which correspond to the values in the table.

幅 W			高さ h		
設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
230	228	-2	368	388	+20
230	231	+1	368	373	+5
230	239	+9	368	377	+9
230	224	-6	368	377	+9

書類検査画面の機能

書類検査画面の機能を説明します。



前書類／次書類の表示

選択している書類の同階層のバインダに複数書類が登録されている場合、「前書類」「次書類」ボタンにて検査する書類の切り替えが行えます。

※選択している書類の同階層のバインダに複数書類が登録されている場合のみボタンが有効になります。

前ファイル／次ファイルの表示

選択している書類に添付書類が登録されている場合、「前ファイル」「次ファイル」ボタンにて検査する書類の切り替えが行えます。

※選択している書類に添付書類が存在する場合のみボタンが有効になります。

関連資料の確認

「関連資料」ボタンをクリックすると、選択している書類に関連付けされている書類の確認が行えます。【38ページ「書類検査の簡単な流れ」参照】

※選択している書類に関連資料が存在する場合のみボタンが有効になります。

書類検査状態の選択

書類の検査状態を選択します。

✓ 「検査済」 書類に問題がなかった場合に選択します。

✗ 「指摘あり」 書類に問題があった場合に選択します。

— 「— (ハイフン)」 書類の確認を行っていない場合に選択します。

ここで書類の検査状態を設定すると、電子納品検査システム画面の目次欄に「✓ 検査済」「✗ 指摘あり」「— (ハイフン)」と書類の検査状態が表示されます。



画面起動時の検査状態の設定

検査状態が「－（ハイフン）」の書類を書類検査画面起動時に自動的に「検査済」にする、または書類の検査後に手動で「検査済」にするかを設定します。

メニューバーの「ツール」→「画面起動時の検査状態」をクリックすると、「検査済」「－（ハイフン）」が表示されます。任意でどちらかを選択し、●印を付けてください。



検査コメントの入力

書類検査画面下の検査コメント欄にコメントの入力が行えます。

検査をした書類が指摘ありの場合、コメントを入力しておく、書類を修正する際に修正内容の確認が行えます。

画面を並べて表示する

書類検査／書類検査画面、書類検査／関連資料画面の組み合わせで、左右に並べて表示します。

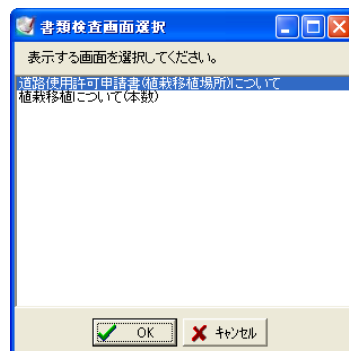
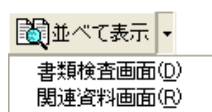
「並べて表示」ボタン右の▼ボタンをクリックすると、メニューが表示されます。

並べて表示する画面名の上でクリックしてください。

※起動している画面が3画面以上ある場合は、右記の書類検査画面選択画面が表示されます。

並べて表示する書類を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、左右に並べて表示を中止します。

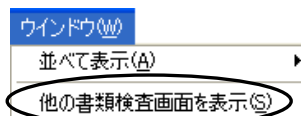


他の書類検査画面を表示する

書類検査画面を複数起動している場合、表示する書類の切り替えを行います。

メニューバーの「ウィンドウ」→「他の書類検査画面を表示」をクリックします。

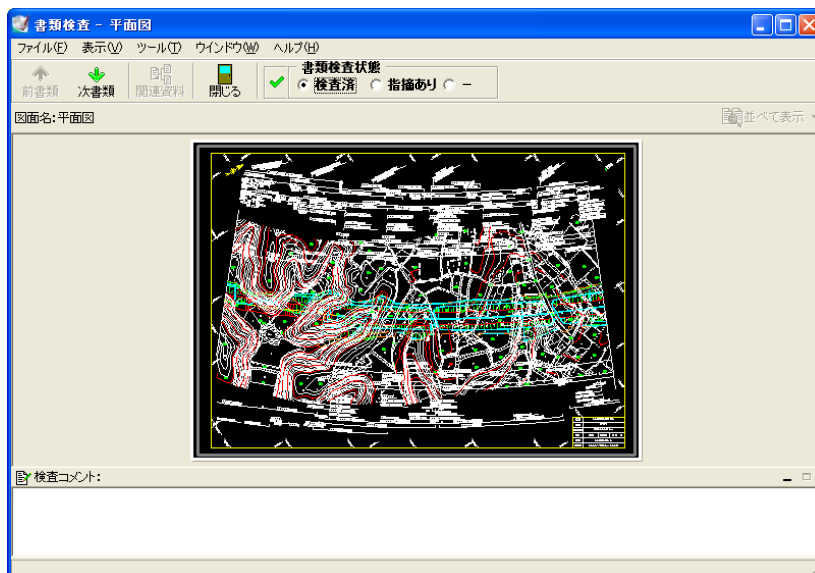
【前項目「書類検査画面選択」参照】



書類検査画面の終了

「閉じる」ボタンをクリックすると、書類検査画面を終了します。

図面および写真のプレビュー画面の拡大・縮小方法の説明をします。



●拡大・縮小には、2種類の方法があります。

1. カーソルを図面に合わせると、虫眼鏡のマークに変わります。

左クリックすると、マウスポインタを中心に拡大され、右クリックすると縮小されます。

2. 図面上でツインドラッグをすると、部分拡大等を行う事ができます。

●左上から右下・・・ツインドラッグした部分が拡大表示されます。

ドラッグ時に印は表示されません。

●右上から左下・・・1つ前の表示状態に戻ります。

ドラッグ時に □ 印が表示されます。

●右下から左上・・・作図範囲全体を表示または写真を画面いっぱいに表示します。

ドラッグ時に □ 印が表示されます。

●左下から右上・・・用紙全体を表示または写真を画面いっぱいに表示します。

ドラッグ時に ☒ 印が表示されます。

作図範囲全体表示
全体表示 (写真)

用紙全体表示
全体表示 (写真)



範囲拡大

※ツインドラッグ → マウスの右ボタン・左ボタンを同時に押しながらドラッグする事です。

●拡大中の図面および写真の移動には、2種類の方法があります。

1. 左ドラッグにて任意の位置に移動する事ができます。

2. スクロールバーより任意の位置に移動する事ができます。

関連資料画面の機能

関連資料画面の機能を説明します。

関連資料

ファイル(F) ヘルプ(H)

選択 閉じる

関連打合せ簿 | 関連図面 | 関連写真

検査対象書類(協議:植栽移植について(… ↑:上位打合せ簿 ↓:下位打合せ簿)

検査状態	打合せ簿名称	打合せ簿種類	管理区分	発行日付	受理日付
✓検査済	植栽移植について	指示	施工管理	2007-11-25	2007-11-25
✓検査済	植栽移植について(本 協議)	協議	施工管理	2007-12-20	2007-12-20
✓検査済	道路使用許可申請書 提出	提出	安全管理	2008-01-12	2008-01-12

A7 下

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
1	様式 - 1																								
2	工事打合せ簿																								
3	発議者	○発注者 ○請負者		発議年月日		平成19年11月25日																			
4	発議事項	○指示 ○協議 ○通知 ○承諾 ○提出 ○届出																							
5	発議事項	○その他 ()																							
6	工事名	平成1×年度 電子納品サンプルデータ工事																							
7	工事打合せ簿																								

手入 FYV 入力表示

プレビューに関連資料を表示する

関連資料の上でクリックすると、プレビューに内容が表示されます。

関連資料の選択

「選択」ボタンをクリック、または関連資料の上でダブルクリックすると、選択されている関連資料の書類検査画面が表示され確認が行えます。

関連資料画面の終了

「閉じる」ボタンをクリックすると、関連資料画面を終了します。

① 検査する書類を検索する

検査する書類の検索を行います。

電子納品検査システム画面の「検索」ボタンをクリック、またはメニューバーの「ツール」→「検索」をクリックします。



電子納品検査システム画面下にオリジナルファイル検索が表示されます。

バインダを指定して検索する管理情報欄または検索するファイル名欄に任意の文字を入力し、検索を行います。

ドロップダウンボタンをクリックすると、前回入力した履歴が表示されます。

「大文字小文字を区別する」にチェックを付けると、検索の際に大文字と小文字の区別をし、検索されます。

検索範囲では、「選択されたバインダ内」「全てのファイル」のどちらかから選択することができます。

「選択されたバインダ内」・・・現在選択中のフォルダ・バインダ内のみ検索を行います。

「サブバインダを含める」にチェックを付けると、選択しているフォルダ・バインダの下階層のバインダ内を検索します。

※バインダツリー欄でフォルダを選択している場合は、「サブバインダを含める」に必ずチェックを付けてください。

「全てのファイル」・・・現在選択中の工事内の全てのファイルを検索します。

検索結果のファイルをダブルクリックすると、登録されているファイルにカーソルが移動します。

② 別のメディアにある書類を検査する

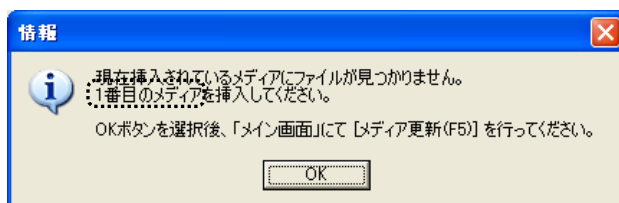
ー 複数枚のメディアを結合していない場合 ー

別のメディアにある書類の検査を行う場合は、メディアの交換を行い、最新の情報に更新しなければなりません。

※複数枚のメディアの場合、データの結合を行うとメディアの交換をする必要がなくなるため、効率よく検査を行えます。

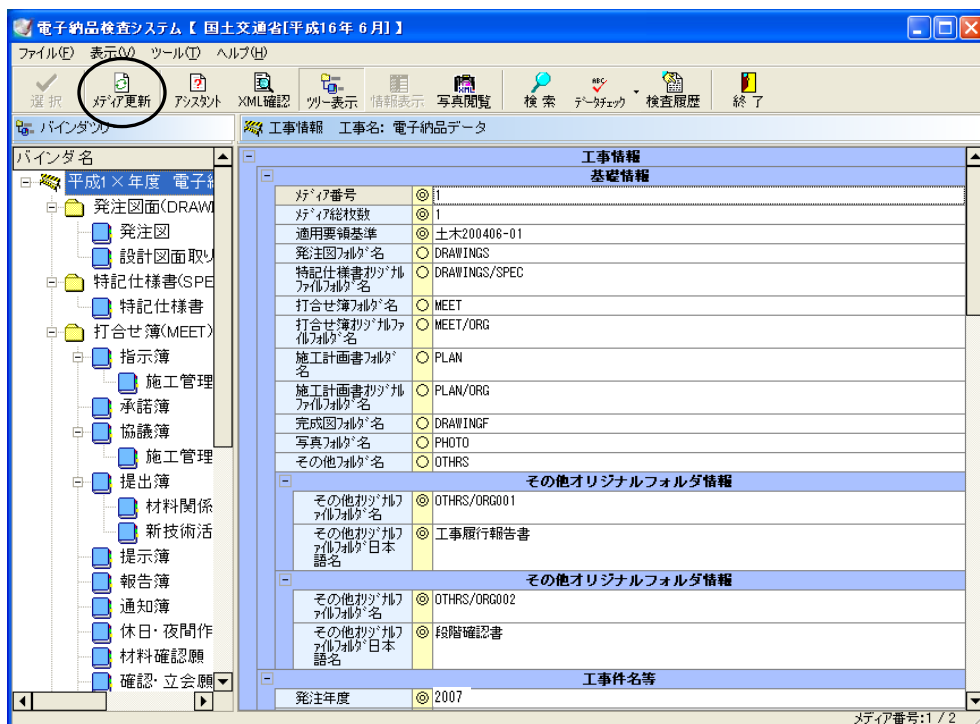
詳細は【20ページ「すべてのメディアを結合して工事を開く」参照】

現在挿入されているメディアにファイルが存在しない場合、以下のようなメッセージが表示されます。



メッセージに表示されているメディア番号を確認し、「OK」ボタンをクリックします。

続いて、メディアの交換を行い、電子納品検査システム画面の「メディア更新」ボタンをクリック後、再度、書類の選択を行ってください。



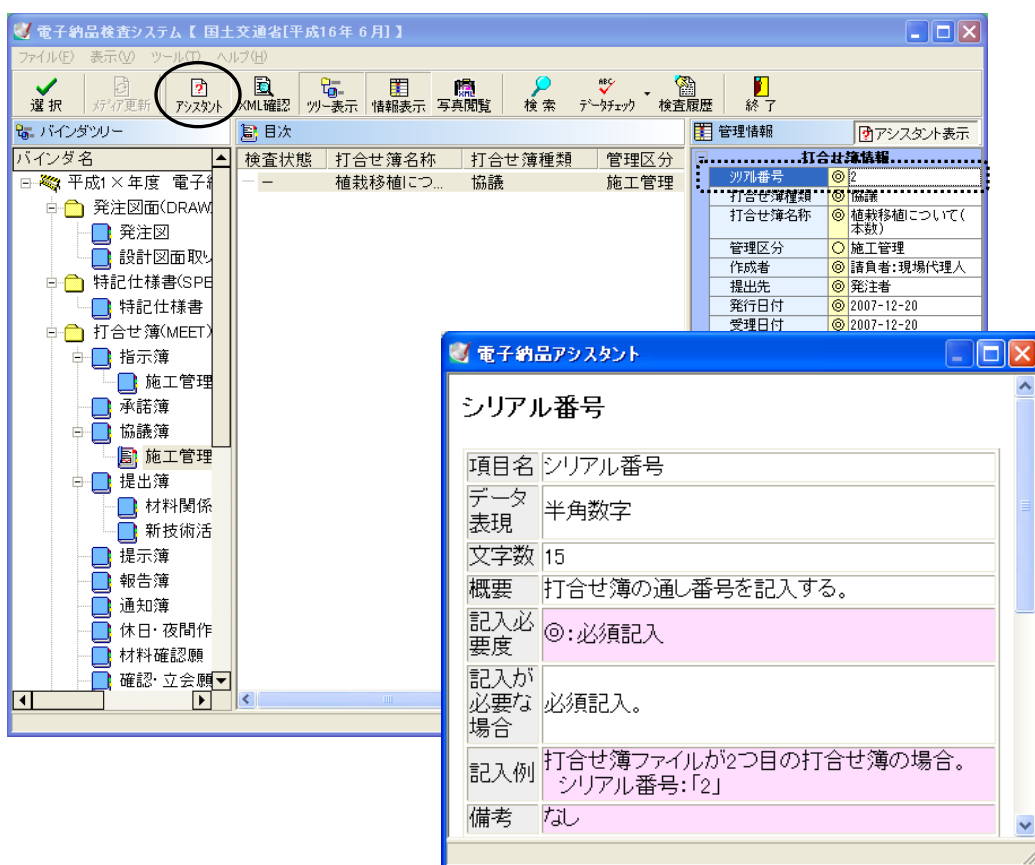
(B) 書類のXML情報を確認する

書類のXML情報をそれぞれの方法で確認します。

① アシスタントを使用して書類ごとのXML情報を確認する

書類ごとのXML情報をアシスタント機能を使用して確認します。

確認する書類のXML情報を選択し、電子納品検査システム画面の「アシスタント」ボタンをクリックします。



電子納品アシスタント画面が表示されます。

重要な項目は、ピンク色で表示されています。また、項目ごと表示されるので、検査の際に参考にしてください。

② 管理フォルダごとのXML情報を一覧で確認する

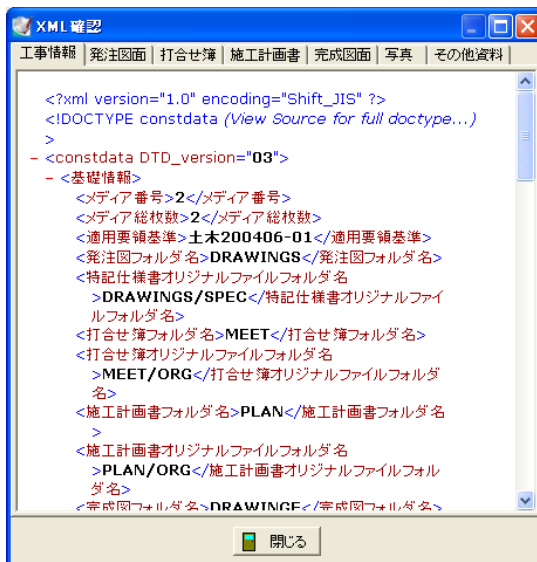
管理フォルダごとのXML情報を一覧で確認できます。ただし、複数枚のメディアに保存されている場合、挿入しているメディア内の情報のみの確認となります。

電子納品検査システム画面の「XML 確認」ボタンをクリックします。

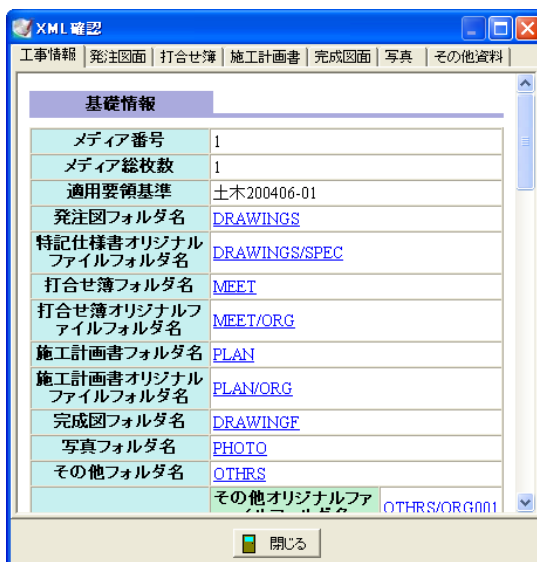


XML 確認画面が表示されます。

各タブを選択する事で、管理フォルダごとのXML情報を一覧で確認できます。



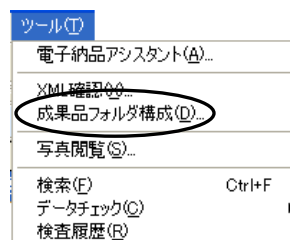
電子納品支援システムのデータ出力の際に、XML情報をスタイルシートで出力する設定を行うと、スタイルシートの形式で確認ができます。



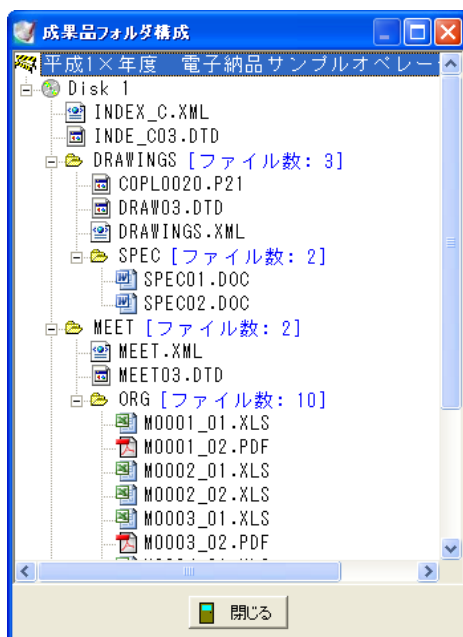
(C) 成果品のフォルダ・ファイル構成を確認する

読み込んだ成果品のフォルダ・ファイル構成をメディアごとに確認する事ができます。

メニューバーの「ツール」→「成果品フォルダ構成」をクリックします。



成果品フォルダ構成画面が表示されます。



フォルダの構成、そのフォルダ内のファイルの構成を確認する事ができます。

※PHOTOフォルダ内は、ファイル数のみの確認となりファイルは表示されません。

確認が終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして終了してください。

(D) 写真閲覧で写真（PHOTO）フォルダの内容を確認する

写真閲覧ソフトを起動して、写真（PHOTO）フォルダの内容を確認します。

※弊社写真閲覧ソフト「写管屋XMLビューア」がインストールまたはCDに添付されていない場合や成果品の写真（PHOTO）フォルダにデータがない場合は、「写真閲覧」ボタンはグレー表示となります。

電子納品検査システム画面の「写真閲覧」ボタンをクリックすると、写管屋XMLビューアが起動します。



写管屋XMLビューアの詳細は【「写管屋 操作説明書」参照】

※写管屋XMLビューアは、PHOTOフォルダを選択した場合も表示できます。

MEMO

挿入しているメディアにPHOTO、XMLがない場合、以下のようなメッセージが表示されます。メッセージに表示されているメディア番号を確認して、「OK」ボタンをクリックします。

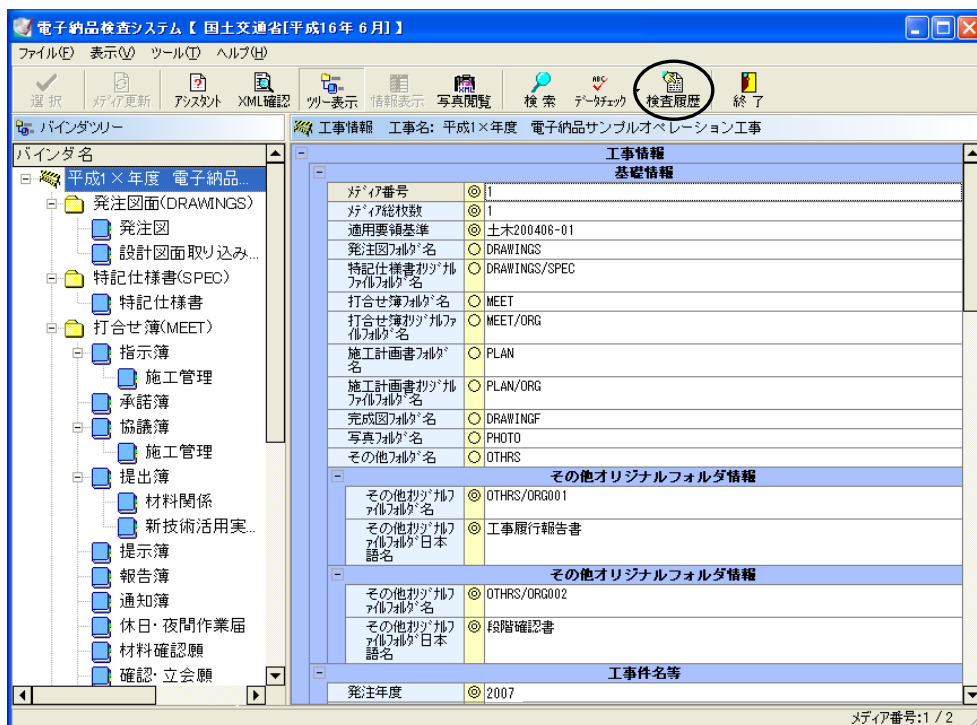


続いて、メディアの交換を行い、電子納品検査システム画面の「メディア更新」ボタンをクリック後、再度、「写真閲覧」ボタンをクリックしてください。

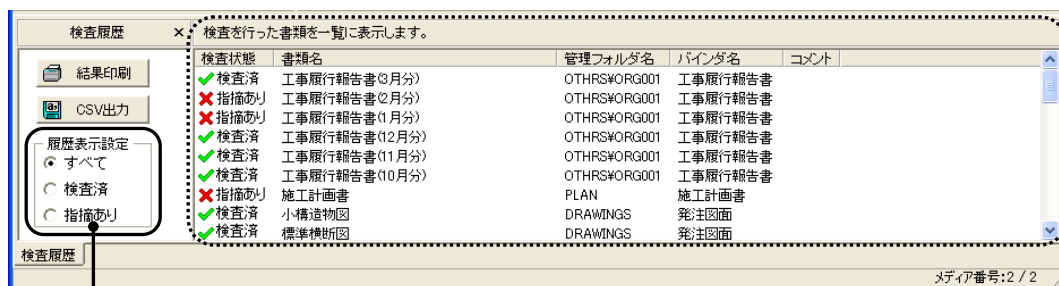
7 検査した書類の履歴（検査結果）を確認する

検査した書類の履歴（検査結果）を確認します。

電子納品検査システム画面の「検査履歴」ボタンをクリックしてください。



電子納品検査システム画面下に検査した書類の履歴が表示されます。



一覧に表示する履歴結果の設定を行う事ができます。

- すべて …………… 検査済と指摘あり書類の両方が表示されます。
- 検査済 …………… 検査済書類のみが表示されます。
- 指摘あり …………… 指摘あり書類のみが表示されます。

8 検査した書類の履歴（検査結果）を出力する

検査した書類の履歴を出力します。

(A) 検査結果を印刷する

検査した書類の履歴を「すべて」「検査済」「指摘あり」から選択し印刷します。

電子納品検査システム画面下の「結果印刷」ボタンをクリックします。

検査状態	書類名	管理フォルダ名	バインダ名	コメント
✓ 検査済	工事履行報告書(9月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
✗ 指摘あり	工事履行報告書(9月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
✗ 指摘あり	工事履行報告書(10月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
✓ 検査済	工事履行報告書(12月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
✓ 検査済	工事履行報告書(11月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
✓ 検査済	工事履行報告書(10月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
✗ 指摘あり	施工計画書	PLAN	施工計画書	
✓ 検査済	小構造物図	DRAWINGS	発注図面	
✓ 検査済	標準横断面	DRAWINGS	発注図面	

出力付加情報設定画面が表示されます。

印刷する項目にチェックを付けます。

検査担当者の印刷を行う場合は、チェックを付けた後に検査担当者名を直接入力してください。

設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。

印刷を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

出力項目設定

- ☒ 工事番号: 1234567890
- ☒ 工事名称: 平成1×年度 電子納品サンプルオペレーション工事
- ☒ 対象水糸路線名: 国道×××号
- ☒ 工期: 2007/10/04 ~ 2008/03/31
- ☒ 検査日付: 2008/04/28
- ☒ 検査担当者: 建設 太郎

「OK」ボタンをクリックすると、印刷画面が表示されます。

プリンタ・印刷部数等を設定します。

印刷を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックします。

印刷を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

印刷

プリンタ

プリンタ名(N): NEC Color MultiWriter 9500C

状態: 準備完了

種類: NEC Color MultiWriter 9500C

場所: MultiWriter9500C

コメント:

印刷範囲

☒ すべて(A)

☐ ページ指定(G):

☐ 選択した部分(S)

印刷部数

部数(Q): 1

☒ 部単位で印刷(Q)

以下のように印刷されます。

例) 検査履歴

工事番号	1234567890
工事名称	平成1×年度 電子納品サンプルオペレーション工事
対象水系路線名	国道×××号
工期	2007/10/04 ~ 2008/03/31
検査日付	2008/04/28
検査担当者	建設 太郎

NO.	検査状態	書類名	管理フォルダ名	バインダ名	コメント
1	検査済	工事履行報告書(3月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
2	指摘あり	工事履行報告書(2月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
3	指摘あり	工事履行報告書(1月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
4	検査済	工事履行報告書(12月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
5	検査済	工事履行報告書(11月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
6	検査済	工事履行報告書(10月分)	OTHRSWORG001	工事履行報告書	
7	指摘あり	施工計画書	PLAN	施工計画書	
8	検査済	小構造物図	DRAWINGS	発注図面	
9	検査済	標準横断面図	DRAWINGS	発注図面	
10	検査済	縦断面図	DRAWINGS	発注図面	
11	検査済	平面図	DRAWINGS	発注図面	
12	検査済	DC122117	MEET	報告	
13	検査済	DC122134	MEET	報告	
14	検査済	DC122128	MEET	報告	
15	検査済	DC122304	MEET	報告	
16	検査済	DC122142	MEET	報告	
17	検査済	DC122309	MEET	報告	
18	検査済	DC122307	MEET	報告	
19	検査済	DSCF0077	MEET	協議	
20	検査済	DSCF0076	MEET	協議	
21	検査済	DSCF0163	MEET	協議	
22	検査済	DSCF0160	MEET	協議	
23	検査済	DSCF0157	MEET	協議	
24	検査済	DSCF0085	MEET	協議	
25	検査済	DC122327	MEET	協議	
26	検査済	DC122326	MEET	協議	
27	検査済	DC122323	MEET	協議	
28	検査済	DC122319	MEET	協議	
29	検査済	DC122711	MEET	協議	
30	検査済	DC122343	MEET	協議	
31	検査済	DC122333	MEET	協議	
32	検査済	DC122332	MEET	協議	
33	検査済	DC122329	MEET	協議	

-1-

(B) 検査結果をCSV出力する

検査した書類の履歴をCSV出力します。

電子納品検査システム画面下の「CSV出力」ボタンをクリックします。



出力付加情報設定画面が表示されます。

出力付加情報設定

チェックをつけた情報は、エラー情報に追加され出力されます。

出力項目設定

☒ 工事番号 1234567890

☒ 工事名称 平成1×年度 電子納品サンプルオペレーション工事

☒ 対象水系路線名 国道×××号

☒ 工期 2007/10/04 ~ 2008/03/31

☒ 検査日付 2008/04/28

☒ 検査担当者 建設 太郎

OK キャンセル

出力する項目にチェックを付けます。

検査担当者の出力を行う場合は、チェックを付けた後に検査担当者名を直接入力してください。

出力を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックします。

出力を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリックすると、名前を付けて保存画面が表示されます。

名前を付けて保存

保存する場所: リムーバブル ディスク (G:)

最近使ったファイル

デスクトップ

マイドキュメント

マイコンピュータ

マイネットワーク

ファイル名: エラー結果

ファイルの種類: CSVファイル (*.csv)

保存 キャンセル

保存する場所欄のドロップダウンボタンをクリックし、表示される一覧から保存するフォルダを選択します。

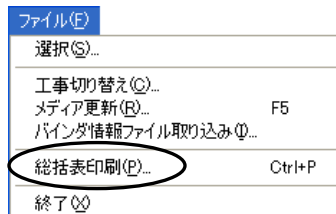
ファイル名欄に任意のファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。

保存を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

9

各バインダに登録されている書類の総括表(提出書類とXML情報の一覧)を印刷します。

メニューバーの「ファイル」→「総括表印刷」をクリックします。

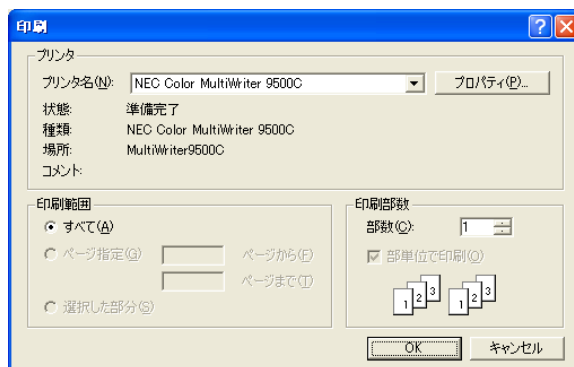


印刷画面が表示されます。

プリンタ・印刷部数等を設定します。

印刷を実行する場合は、「OK」ボタンをクリックします。

印刷を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



以下のように印刷されます。

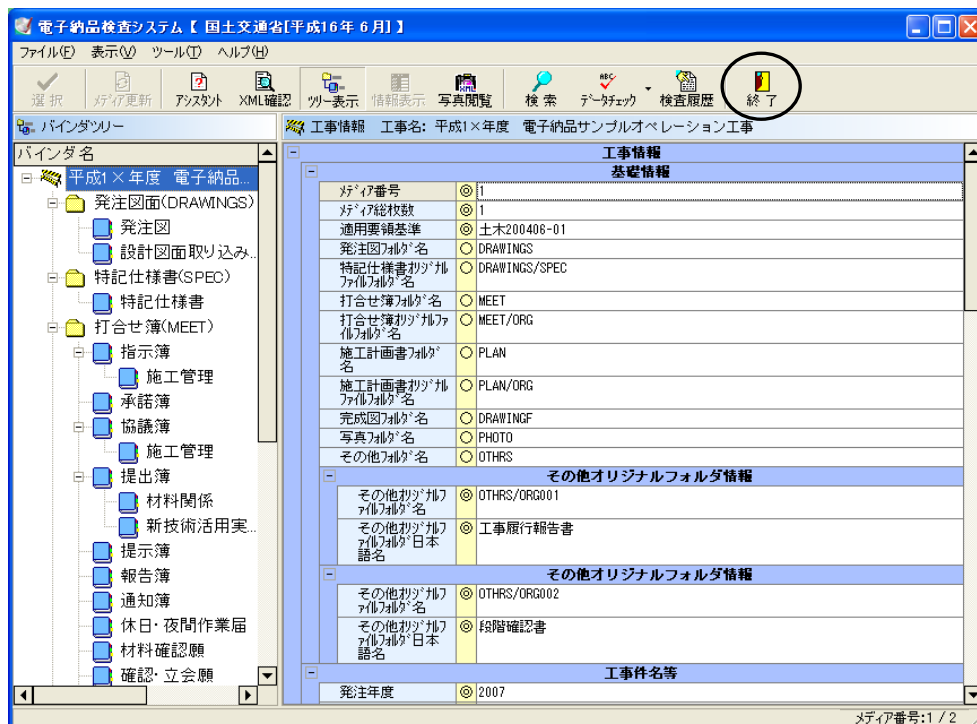
例) 総括表

[illegible]

10 電子納品検査システムを終了する

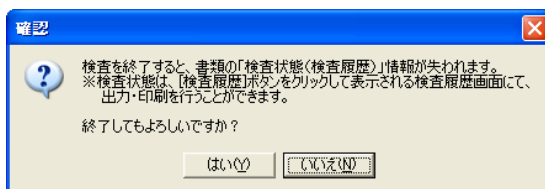
電子納品検査システムを終了します。

電子納品検査システム画面の「終了」ボタンをクリックします。



●検査済書類がある場合

検査済書類がある状態で電子納品検査システムを終了すると、確認メッセージが表示されます。



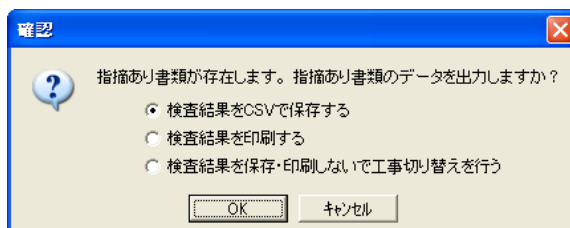
電子納品検査システムを終了すると、書類の検査状態の情報がすべて失われるため、必要であれば情報の出力を行ってください。

「はい」ボタンをクリックすると、電子納品検査システムを終了します。

「いいえ」ボタンをクリックすると、電子納品検査システムの終了を中止します。

●指摘あり書類がある場合

指摘あり書類がある状態で電子納品検査システムを終了すると、確認メッセージが表示されます。



現在の工事を再度読み込んでもすべての書類の検査状態が「－（ハイフン）」に戻ってしまうため、指摘あり書類がある状態で電子納品検査システムを終了する場合は、「検査結果をCSVで保存する」または「検査結果を印刷する」のどちらかで出力を行い、記録を残してから電子納品検査システムを終了する事をお勧めします。

選択をしたら、「OK」ボタンをクリックします。

電子納品検査システムの終了を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

出力方法の詳細は【58ページ「検査結果をCSV出力する」参照】

【57ページ「検査結果を印刷する」参照】

① ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDF マニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。

「サポートページ」へのアクセス方法

- ① デスクトップにある
ショートカットをダブルクリックする



- ② 検索サイトから検索する

KENTEM サポート

検索

【ご注意】

1. 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製する事は禁止されております。
2. 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更する事があります。
3. プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
4. 使用しているデータは、本書用に作成したものととなりますので、実在しません。
5. 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れ等、お気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
6. 本書の印刷例および画面上の会社名・数値等は、実在のものとは一切関係ございません。

●Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。

●Acrobat は米国アドビシステムズ社の登録商標です。

●その他社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

554-1 2023 年 6 月 27 日作成